男女貞潔之理想　公娼廢止之主張

會長 島田三郎　副會長 安部磯雄

5—89

廓清

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正八年三月三十日印刷）
（大正八年四月一日發行）
（毎月一回十日發行）

第九卷第三號

□藝酌婦二枚鑑札論…早大教授 安部磯雄
□西比利出稼醜業婦…婦人矯風會總幹事 林歌子
□奇怪極まる前借制…救世軍大佐 山室軍平
□婦人參政權の問題…法學博士 山脇玄
□女大學新評論（十一）………一條忠衞
國際聯盟に對する妄説を排す…廓清會長 島田三郎
□花柳病撲滅の倫理方面…廓清會理事 油谷治郎七
□軍國主義の覆沒…聯合軍慰問團長 日疋信亮
□虚僞の生活…三輪田女學校長 三輪田元道
□娼妓驅黴病院手記…看護婦 田山和子
□普通選擧と婦人…文學博士 藤井健次郎

東京 廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ライオン煉齒磨

—の—

特色

一、本品には齒口を清掃するに必要なる防腐殺菌芳香其他諸種の貴重藥品を調合しある事

二、特に煉狀ならざれば使用し難き特種の貴重藥品を使用しある事

三、本品は煉狀なればよく齒刷子にのりて齒の隅々まで達する特色ある事

四、その結果齒の質と齒の健康とを保持するに些の遺憾なき事

五、本品は香味高尚にして口中を爽快ならしむると同時に心身の爽快を促す力ある事

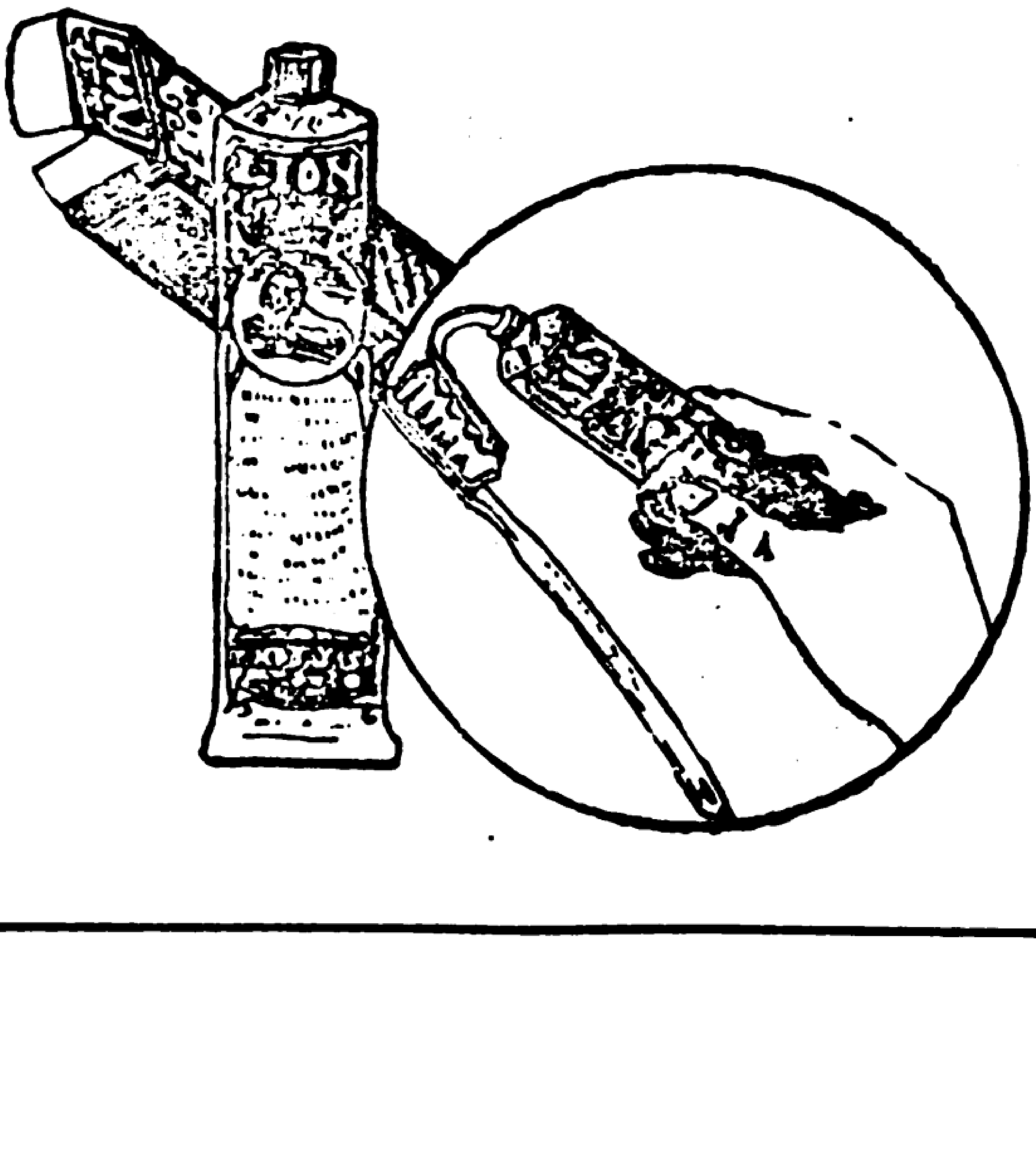
六、本品は家庭用と旅行用とを兼れて清潔簡便なる事

七、含嗽多ければ一回の消費量極めて僅少にて足るが故に長期間の使用に堪へ誠に經濟なる事

八、內容外觀共に高尚且つ現代的にして然も贅澤ならざる事

九、使用毎に隨意の量を限り搾り出し得るが故に殘餘を不潔ならしめざる事

十、製法に最新の學理を應用し改良に改良を加へたれば其效果及び其趣味に於て創來品に優れる事



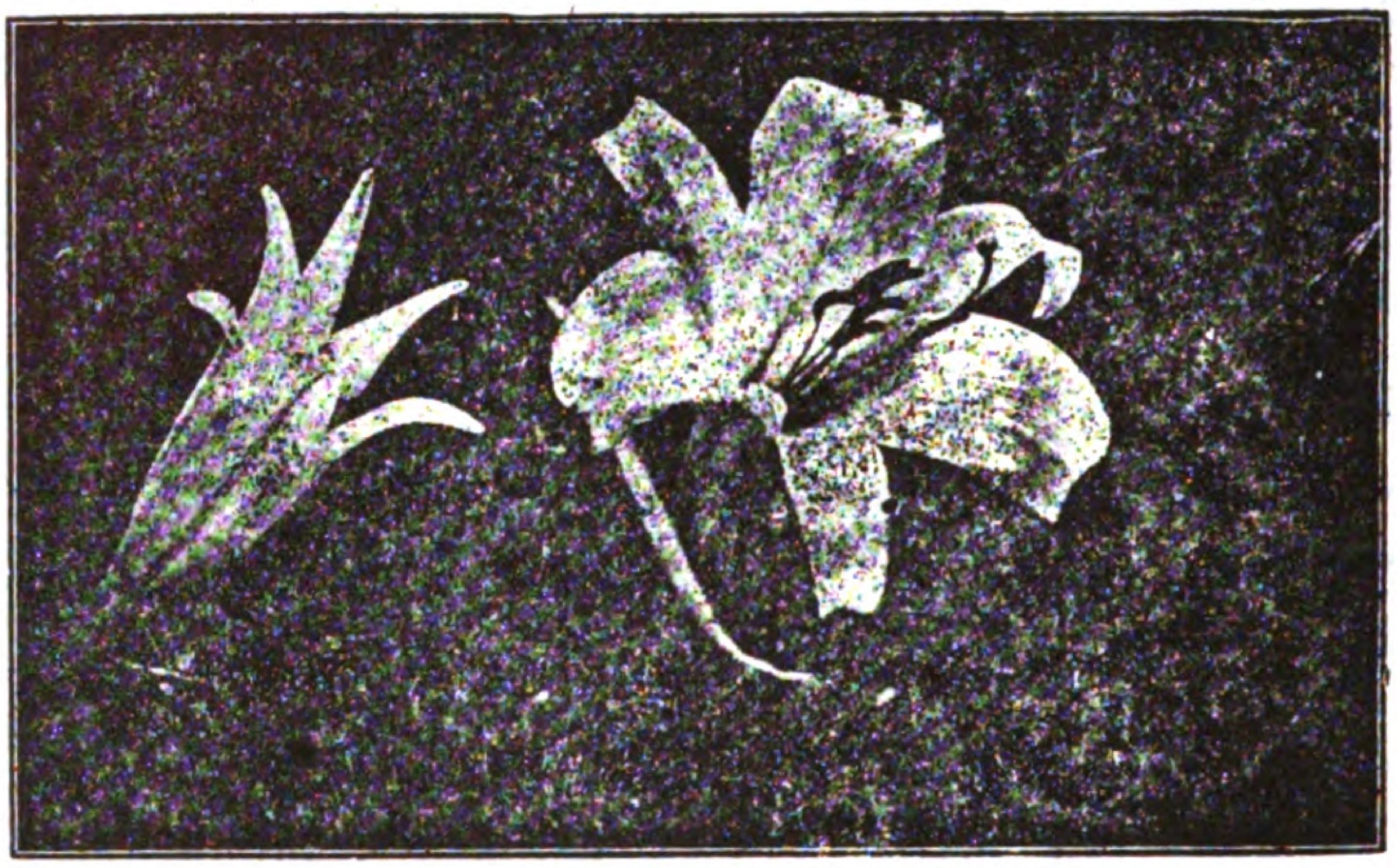
東京市本所區外手町
ライオン齒磨
ライオン小兒齒磨
本舗 合資會社 小林商店
支店 大阪市西區[illegible]二丁目 名古屋市桑名町四丁目 上海、漢口、天津、大連

廓清

THE PURITY

大正八年四月

第九卷 第三號



西比利出稼醜業婦の跋扈

陽春三月、百花燎亂たらんとするの候、なほ一白荒涼、滿地皚々たる西比利の野は、今我が武を輝かしつゝある處也。然るに皇軍の進む處旭旗の翻る處、否大和益荒雄の足跡至らざる地にすら、我が同胞姉妹の賣笑に窶れたる淺ましの姿を見ざるなく、我が忠勇なる士卒の血を汚しつゝあるは言ふも更也、露人たると支人たると米兵たると獨墺の俘虜たるとを問はず、笑を賣り媚を鬻ぎ貴き節操を蹂躙に任しつゝあり。爲めに東洋覇者の武威は傷けられ、日東君子國の道德を辱しめられ、彼等を通じて日本婦人は卑しめられ、我等の社會的事業も彼地に行ふ能はざる迄に擯斥せられつゝありといふ嗚呼海外醜業婦は日本帝國の名物なる歟。列國其の跋扈に堪へ得ずして米領に逐ひ英領に逐ひ、露領蘭領皆彼等を驅ると雖、恥なき飯上の蠅は、從つて去り隨つて來り、多々益々浸潤、國家の體面を泥土に委し去らんとす。

さはれ、彼等の多數は誘拐の毒手に乘ぜられたる者にして甚しきは櫓に詰められて密航せしめらると傳ふ。斯くて彼等の姉妹は雲耶山耶呉耶越耶、萬里異域にそれとも分かぬ故山を望んでは泣いて哭いて涙さへ涸渇しつゝあるなり。

今我等の同志は西比利に行き其實狀を視察し(十九頁參照)來り、人道と國威の爲めに敢て同胞に訴へんとす。國際聯盟を論じ人種差別撤廢を叫ぶ者よ、乞ふらくは先づ恥辱極りなき我が出稼醜業婦を取締りて外國の侮を防ぐ可し、公娼てふ奴制を解きて先づ國內の差別的待遇を撤せよ。(江南)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

國際聯盟を歡迎す

廓清會々長 島田三郎

□個人の間は力爭の時代より法爭の時代に移れり

國際聯盟規約草案は、起草委員會の手を離れて世界に公示せられたり。全文二十六ヶ條其含む所の事實多端なりと雖、其骨子は國際爭議を力に決するの舊慣を更めて之に代るに他の方式を以てするに在り。顧るに人類の爭を力に決するは、原始社會以來の習俗にして個人の事も、部落の事も共に健闘によりて勝敗を決せり。彼等の意、謂へらく力勝つ者は理勝つなりと、當時の思想は、此單純なる信念に滿足したるに、時代の進歩は此思想を一變し、個人の爭は之を國法によりて決することゝなり、敗者も甘じて之に服從するに至れり。然れども國際の爭を決するは、力制以外に其手段なしと觀念せり、戰爭の慘禍を痛み之を避くるの方法を考慮するもの、古來其人少からずと雖、唯理想として是認せらるゝのみ、其實行は何れも效果を見る能はずして皆失敗に歸したり。

□人事の變化は時代思想の反映

＝偉人成功の程度、國際の紛爭を決するの方法、法律問題、政治問題、國力均衡の行詰り世界の大戰となる＝

人間百事の實現は、其背後に潜める時代思想の反映なり。人心義を好み、人情不仁を惡むの時代に至り、偉人能く此思想を實際に具體化して、此に初めて有效の法式を立つることを得べし。若し偉人の思想餘りに時代に先だつに於ては、一世擧つて之を空想視し、又之を顧る者なかるべく、時代の思想熟すと雖、偉人能く機會を捉らへて、一世の思潮を捲起するにあらざれば、空しく時機を逸し去らしめて、世運を變ずること能はざるべし。個人の爭を力に決せずして、法に決するの主義を國際に適

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

用せんとする希望は、各種の平和協會又は個人をして種々の方式を案出せしめ、其或る方式は、列國平和會議の議に上りたることあり、國際の紛爭其問題の法律に屬する者は之を仲裁國又は仲裁委員に附託すべしとの條約を締べることあり、然れども更に重要にして戰爭の危機を含める政治に屬する問題は、其紛議を戰爭によりて解決するの外なしと此不滿足なる而かも餘儀なき方法に滿足し、國力の均衡を以て國際の平和を維持する、極めて姑息なる而かも唯一の手段とせり、然れども兵力の匹敵即ち武裝の平和は、結局戰爭破裂の原因となり、何れの日にか、其煉磨せる實力を實驗せんとするは、是れ軍事專門家多數の心術にして、甲國に勝算ありと信ずる時は、甲國進みて挑戰者となるべく、乙國の進退も亦甲國と相同かるべし。此危運を防がんが爲めに、列國皆絶えず國民發達の資料を犧牲として、之を殺人の準備に提供し、科學の精華を傾盡して之を文明の破壞に倒用し、一旦戰爭の期に入れば、詭計隱謀殘忍暴戾自國に利にして、敵國に克つに便なる事は、一切の惡德を敢行して且之を是認するなり。個人として罪惡視せらるゝの行爲も、國家として之を認容するは戰爭に於て然りとす。

一言するに、戰爭は人性を惡化するものにして、人道と相容れざるなり、然れども國家は猶ほ家族の如し、二者共に社會發達の成果にして、文明保持の要素なれば、他の妨害に對して之を防守し、以て其獨立と自由とを安全に保たざるべからず。強盜脅賊に對して自衞の術なければ、家に安寧なく、人に自由なし。幸に國內には法律あり警察あり、以て、他の非違を制し暴戾を遏め、又法廷に曲直を辯ずるを得るが故に、家族の獨立自由安寧を保つを得ると雖、國際の爭は之を訴ふべき法廷なく、他國の暴戾に對しては、自國の防禦力を恃むの外、又賴るべきものの無きが故に、無事の時に多兵を備へ、有事の日に戰爭を爲すの境遇に甘ずるの外あるべからず。而して其勝敗は一に兵の多寡強弱に決して、勝つ者は勝ちたるの理由の爲めに正視せられ、敗るゝ者は敗れたる結果によつて、不正視せらる。是れ人類を獸化するものにして、道義と相容れざるなり。然れども必要に驅られ、習俗に鋼せられて原始社會以來此狀態を繼續したるが、人類思想の發展は此狀態に滿足せず、厭忌の觀念漸次に長じ、此苦患を免れんと煩悶するに際し、一方に於て武裝立國の行詰りたる結果、此に無前の大戰を惹起して幾千萬の生靈を殺傷し、百年累積の富資を消盡するの慘劇を演出したるは是今回の大戰なり。

□大戰の慘劇戰爭厭忌の良心を刺戟す

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

＝終末戰爭の聲。ウイルソン氏の熱誠努力。聯盟案の成功。各方面不滿の聲＝

人心の奥底に深く戰爭を厭忌し、其極めて背理なるとを自覺せる時代に於て、此至慘を眼前に實驗せり、如何ぞ其良心を刺戟して再び之を繰返へさゞらんと欲するの觀念を激生せざらんや。開戰以後何人が言ひ出しけん、是れ「終末の戰爭」なりとの聲を聞けり。此句は至深の意と悔恨の情とを含めるものなり。四ケ年餘を經て好戰國を打破し了れり。講和會議の本題に先だちて、世界の平和を後來に確立せんとするの序幕開かれたり。米英佛伊日五國の代表委員會議して、國際聯盟規約案起草せられたり、その確立は尚幾多の日子と手續きとを要すべしと雖、其大要は既に略定せられたり。此聯盟はウイルソン氏が、戰爭期間より切望し豫告したる所のものにして、此豫計成就せざれば講和會議の價値些少ある旨を聲言し、大統領として破格の海外旅行を敢てし進みては列國の主權者執政者を歷訪し勸說し、背後には聯盟計畫を違憲なり傳統的國論に反するものなりと非難する本國政治家の聲を耳に留めず、自己の進退の不便を厭はず、百方力を盡して此道程に達したるなり。此人無かりせば休戰條約論議を再三延期して、聯盟問題を第一議題とし以て今日までの結果を收むる能はざりしと明白なり。此事實に鑑みる時は氏は確かに其目的に成功せり。然れども此擧は各方面の滿足を博するに足らず、而して其確定の後に至るも、尙種々の批難を受けん、否な未だ確定の期に至らざる今日に於て、不滿の聲は既に各方面に揚りつゝあるなり。

□聯盟案に反對する各種の主張

ウ氏は、英國海事協會の說に基ける、英國政府の異論に讓歩して、海洋自由說を取消したり、今回の大戰は英獨の爭霸戰にして、其歷史感情、思想相類する英米提携して終局の成功を收めたる結果、此二國に負ふ所多き佛伊二國は自國の最要主張を妨げざる程度迄は、英米二國に讓歩するならん。詮ずる所兩大英語國の全盛を現出せしめたるものなり。見よ英國は本國及び其殖民地より委員を出せり、獨の殖民地は多く英の管理に歸すべし。彼等强國は其爲さんと欲する所を爲して、自國の利益を計るならん、國際の爭議起る時、聯盟委員會の決定に違反する國は、他の聯盟列國より通商財政上の關係を絕たれ、一切の交際を禁ぜられ、個人の關係をも防遏せられんとす。是れ舊來の兵力的制裁に代るに、新規の經濟的制裁を以てするものに過ぎず。廣大の領土を有する米國と、氣候異なる殖民地を各方面に領有する英國は、他より拒斥絕交せらるゝも、不便を感ずること少かるべきが二國以外の餘國は此點に於て非常の痛苦を感ずべし、是れ獨逸兵力の舊壓抑を脫して、英米經濟力の新壓抑を受くるの時代に入るに過ぎず。ウ氏が高唱せる正義人道の眞相、此の如きのみ。況や人類を平等視し大小國を同一視するの觀念を懷く者は、此機會に於て人種的區別を撤去せざるべからず。然るに我國の委員が發せる人種的區別撤廢の提言は、其問題の範圍宏汎にして複雜の事情を含み、錯綜せる諸問題を誘起すべしとの理由の下に、暫く議題外に置くこととなりたりと。以て此會議の眞相と聯盟規

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

約の眞價値の如何をトすべしと。是れ此會議に對して世に現はれたる批評の一端なり。

□各國理想政治家の鼓吹

＝ウイルソン氏の誠實、其人格の力、吾人も亦國際聯盟規約草案を完全にして、理想の發表と許するものにあらず＝

海洋の自由人種區別の撤廢の行はれざること、軍備制限が陸軍に限りて海軍に及ばざるの狀なること、自由貿易主義の關稅說に言ひ及ばざることの如きは其實例なり。戰爭の絕無と純理の實現とを期待して、過度の冀望を聯盟組織に屬したる新思想家、及戰爭を國際紛議裁決の最好手段と信ずる舊思想家は、失望と不平とを以て大に非難の聲を揚げんとす。吾人の意見は別に之あり、曰く草案の不完全の點を指摘するは可なり、之を非難するも亦理なきにあらず、然れども其主張を虛誕とし其人を僞善と評するが如きは斷じて其不可なることを信ず。大凡法律若くは政治として具體的外觀に現はるゝものは、其時代に於ける多數思想の反映なることを顧んことを要す。如何なる理想政治家も、時代思想と非常に隔れる高遠の理想を實現すること能はず、而して唯時代思想より一段高く一歩進みたる立法施政に成功するのみ。强は弱を淩ぎ大は小を轢り、戰爭を以て國際裁決の唯一手段とせしは現代の實狀なりしに、今回の大戰が大風を世界に捲起して國際の思想を一變し君主及軍人の專制力によりて開戰し得る大危險を遏め、從來無力なりし國際法に威力を附與し、條約を尊重せしむるの思潮を漲らし。一道の光明を此間に放ちて聯盟の結果を現出したるなり。試みに今回の大戰なからしめよ、獨逸の軍國主義は現存して世界は斷えず脅威せらるべし。同盟諸國勝たりとせよ、聯合諸國は軍國主義に驅迫せらるべし。幸にして同盟諸國は敗壞せり世界は戰禍の至慘を目擊せり、戰爭を厭忌する思想は澎湃として起れり。然れどもウイルソン、グレー、ブルジョワー諸氏の如き理想家、歐米の政界に絕無なりしと假定せよ、國際聯盟の思想は、鼓吹せられざるべし。之を實現するの機會は倏忽逸し去らん。而して平和論者多年の主張は、講演著述の題目として存するに過ぎざらんとす。故に吾人は規約草案其者の不完全にして、理想と一致せざるに拘はらず、規約其者の成立を見て之を歡迎し、是等理想政治家の鼓吹と努力とを感謝するに躊躇せざるべし。吾人は彼等諸氏が多數の勢援を背後に有すると同時に、强力の反對者を眼前に見るの事實を知らざるべからず、公平の眼を以て之を見るに聯盟の成立に關して、最大の主張者はウ氏其人なり。其努力、其熱誠其果敢、其猛進は確かに列國の議を動かせり。然れども其尤强き反對は、他の國に在るよりも却て其本國に在り。米國共和黨の有力者中聯盟規約は、米國憲法に抵觸すと力說する者あり。米國傳統のモンロー主義を破壞すと難ずる者あり。十四ヶ條宣言の要旨を變更せりと說く者あり。英國は殖民地代表者として、多數の委員を出すに反して米國の委員少數なりと云ふ者あり。軍人社會に不滿を洩らす者あり。想ふに國家の最上權を高唱して主權萬能の思想を懷ける者は、聯

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

盟成立の爲めに國家權力の制限せらるゝを歡ばず、或は多年獨逸と對立して久く敵愾の念を養ひたる者は、形勢未定の間に早く兵數の制限せらるゝことを危むなるべし。佛伊二國の一部に聯盟の成立を屑とせざるの論者あるは、此種の思想に屬する歟英國は、其島國の國防及殖民地聯絡の爲めに强大の海軍を必要とし、又海上に特殊の權力を保持せんとする事情より、ウ氏が海洋自由を高唱するや、其反對の聲は早く英國に揚れり。直接聯盟規約に關せざるも對獨救濟、對獨賠償、原料供給等の諸問題に關し英佛は米と其立場を異にするの故を以て、勢ひウ氏の主張と庭徑あるを免れず。此間に立ちて其豫想の七八分を實現し、聯盟規約草案を成立せしめたるは、米國が戰時戰後を通じて要求する所なくして寄與する所多かりしこと、其國力の强大にして列國が今後も尚經濟上の援助を仰ぐ必要あること、米國々民中ウ氏の崇拜者同情者多きこと、是等諸種の原因ありと雖、其主なる原因はウ氏の誠實と其人格の力とにあることを信ず。

□モンロー主義は既に其本義を失へり

＝タフド氏聯盟に同情す。互讓合議の性質として純全の公平を得ず。共通の希望は平和の確立にあり＝

米國上院内の異論は、重に共和黨傳統の主張より來るものゝ如し。吾人を以て之を見るに、モンロー主義を破壞すとの反對は餘りに保守的臭味を帶びたる舊說なり。抑歐洲諸國が米洲諸國の政治に干涉するに反對し、舊大陸の諸國は新大陸の事に干涉するを容るさずと宣言せしは此主義の起原にして、之と同時に、他洲の國際事件に干涉せず超然局外に立つを以て、米國の本分となしたるが、並界形勢の變化し交通の開通したる結果、新舊東西の區劃は自然に抹殺し去られ、特に米西戰爭以後米國が東洋の事にも關係し、更に今回の大戰に於て歐洲出兵の事あるに至りて、モンロー主義は既に其初期の意義を變じたるを見るなり。憲法上の問題は之をモンロー主義に比するに其立論稍言議の根據あるが如し、往年英米兩國間に起る紛議を仲裁委員の審議判定に附すべしとの條約を兩國の間に締結したる時、英國に於ては異論なかりしが、米國は上院の批准權に干涉するものとして、之を否認したるとはタフト氏大統領在職の時に在りき。タ氏は强制平和協會の長として仲裁裁判主義を主張する人なり、此共和黨中の有力家は其黨員が、聯盟問題に關してウ氏に反對するに拘はらず電報によりて知り得たる聯盟規約草案の概要を讀みて、豫期以上の成功と評したりと傳へらる。之を要するに利害境遇國情相異なる列國の政治家が各其自國の利益を代表して合議するの結果、純全の理想眞成の公平を得んこと難し。佛伊二國民は接境獨逸の恢復後の危險を慮るに重きを置くなるべし。英國は殖民地の主張冀望を輕視せば其乖離を招くの患あらんことを懸念するなるべし。事情相異なる國民を其背に負ふて、其意志を代表する各政治家の態度言議に差異あるべきは、必然の結果と言はざるべからず。吾人は此の如き複雜錯綜せる事情の間に成立せる規約草案は起草委員各自も亦自己の思想を互讓しつゝ之を成立せしめたるべきことを思ひ、其十分の滿足を表するものにあらざ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

るを想ふなり。純然の理想實成の公平は此合議の性質として之を期し難し。此間共通一致の中心點と見るべきは、戰爭の大禍至慘に心を動かし之を豫防するの計畫を確立せんとする冀望之れなり。ロイド、ジョージ氏は戰場荒廢の慘景を巡視して、平和永續保持の念を刺戟せられたる旨を語れりと傳へらる。吾人は此冀望の一致に於ては各政治家の誠意を信じて疑はず、特にウ氏過去の事蹟に徵して其眞心を確認する者なり。

ウ氏は大學總長として、富豪の勢力と門閥の氣習とが大學に瀰蔓するの弊を除かんと欲し校内の不人望を買ふを畏れず、校外の衆論と同情とによりて奮闘したり。州知事として財界黨界の勢力を破り多數民衆の福利を計り、大統領として銀行法、關稅法を改正し、トラストを制し、資本家を抑へ以て民衆生活の上進を計るに成功したり。是等の行爲は何れも少數强者の專權に對して、多數弱者の友たる點に於て其主義性行の一貫するを見る。是等の事實を以て其人物を審識し國際聯盟の主張が平和を冀望する中心の熱誠に發することを推知するなり。吾人は一種の論者が聯盟の計畫を評し、正義人道の美名を藉りて自國の私便私利を計り、羊頭を懸けて狗肉を賣るの擧なりとして、終に併せて其主張者の人格を疑ふの説を否認するものなり。

□前獨領の聯盟共同領有を賛成す

=フイリツピンの前途。モンロー主義の頑守論及其異論=

大戰の結果、聯盟國が獲得したる前獨領の或る者に對し、聯盟は信任の位置を取り、資源經驗地理の理由より責任を負ふに、最も適したる國に之を托し、其受托者は、聯盟に代りて行政の權を執り、以て其の住民の生存幸福を保全し、聯盟諸國の精神を達せしめんとす。(第十九條)抑聯盟論は、戰勝の善後策として提起せられたる考案にして。戰爭期間には僅に政治家の論文演説等によりて、宣傳せられたるのみ。而して戰雲各方の天を翳へる間は、實際問題の形を取りて成立せざりき。故に獨領殖民地は、大抵戰勝軍之を占領し、專意之を支配したり。從來の慣習に於て、此の如き占領地は、其儘戰勝國の領有に歸したること多し。然るに今回の聯盟規約に於て、占領地が聯盟共同の有に歸し、委任統治に變ぜんとするや。我委員は、初め之に反對し、討論の結果之を讓歩して原案の如く、委員會を通過したりと傳へらる。吾人は我委員が、其主張を讓歩したることを賛成する者なり。否寧ろ始より反對せず、自ら進みて原案を賛成し、且其賛成と共に、此聯盟共同の地に於ける入國移民活動の自由を、聯盟諸國の人民に均與すべきを、明約せざりしことを惜む者なり。吾人は赤道を區劃線として、其太平洋諸島の北を日本に、其南を濠洲に分割領有することは、世界の利益にもあらず、又日本の利益にもあらざることを確信する者なり。吾人はアフリカの前獨領も南太平洋の群島も、其他之と同視すべき領土も、總て原案の如く、聯盟の共同領有と爲し、聯盟國人に通商貿易上均等の機會を附與するは勿論、入國移住活動一切の權利を附與せんと欲する者なり。是れ聯盟共同の必然の結果として、尤も自然の方途なる

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

べきを信ず。是豈世界各種民族、同一待遇實行の第一着手にあらずや。若し然らずして、日本委員當初の主張の如く、現在占領國の絶對領有地として之を分割し、赤道以南の島嶼を濠洲に附與し、其以外を日本に分屬すとせよ、濠洲の現に實行しつゝある所謂白人專有主義を、其新領の島嶼に行はんと彼等は主張すべし。我より之を説破して、合理の解決を得んには、一段の努力を要することゝならん。アフリカの前獨領等に對するに於て、亦同一の不利を受るや必然なるべし。我國の一種の論者が、赤道以北の洋上に散布する砂礫大の珊瑚島を得んと熱望する、其主旨果して何に在る歟、耕殖の利なく牧漁の地にもあらず、唯衡を某々國と爭ふに當り、海軍の要衝地點として之を視るの外、其價値に於て、何物もなかるべし。然るに、聯盟の成立は、此の如き相互の猜疑を根柢より一掃し去り、特に日米間の提携共同は、他の諸國に比して、一層の親善を保ち、今後加盟すべき諸國を招徠するの大義務を負ふ、五大國の二者たる以上は、此際天空海濶互に一點の疑念を挿むべきにあらず、彼も我を猜ふべからず、我も彼を疑ふべからず。此の如くにして始めて、世界の大業を成すことを得ん。吾人は此點に於て、米人に勸告し、或る期限に於て、フイリッピンを米國より分離し、其をして獨立せしめんことを冀望する者なり。進歩の見解を懷ける米人は、夙に同島放棄の説を主張せり。顧みるに同島の併合はマッキンレー大統領ルーズベルト副統領の時に在りて、民主黨は之を非とし、其無用の擧なるを力説したり。然るに近今に於ては、民主黨は勿論、進歩共和黨も亦同島を放棄して之を獨立せしめんとする點に一致するに至れり。其實現は時間の問題に屬す、唯永久に之を保持せんとするは、保守共和黨のみ。ルーズベルトは同島に關して、左の説を公にしたり。

我輩は一日も早く、フイリッピンに獨立を附與せんことを冀望す。而して其安全を吾人が保障する責任を免れんと欲す。斯くすれば、吾人の將來の行動を掣肘せらるゝこともなく、又吾人が永く亞細亞の海岸に後ろ髮を曳かるゝ必要なかるべし。我輩は米國が少しもフイリッピンに足場を固むる必要あることを信ぜず。假令吾人が、フイリッピンに於て如何なる地位に在りとするも、吾人が外敵を受けたる場合に於て、フイリッピンは徒らに吾人の一弱點たるに過ぎずして、何に付ても、足手纏とならんとす。元來フイリッピンは、吾人に對して報酬的利益を與ふるものにあらず。若し吾人がフイリッピンに對して、絶對の支配權を保留し、過去十六年間、吾人の採りたる行動が、無限の利益となつて、現れ來ると假定せよ。吾人が多大の資本を投じ、幾多の危險を冒して、同群島に踏留まりて、事業を此島に成すの義務ありと言ひ得べし。然れども、吾人が遠からず、同群島を放棄することを約し。(譯者曰くフイリッピン群島を、獨立せしめんことを約束したる民主黨の政綱によつて、斯く立言するより)且現に、同群島に於て、有效なる事業を爲すの權利を放棄せんとする以上は、此の如き狀態の下に、長く同島に留まり、吾人が計量に入れ得るの價値を有する、何等報償的の利益をも、フイリッピン人に與ふることもなく、又米人自ら多大の危險を冒すことを可とすべき理由を發見する能はざるを如何せんや。若し果して、フイリッピン

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

人が、獨立すべき權利を有すとせば、吾人が同群島を領有し居るが爲めに、總べての責任及び危險を負ふことを脱することが是亦吾人の權利たらざる可からず。（千九百十五年刊行「大戰と將來の米國」第九篇）

ルーズベルトは、常に强硬外交を唱へて、民主黨の穩我主義を攻擊し、ウィルソン大統領の外交政策を非難し、其對獨態度に異議を挿み、特に千九百十五年の頃には熾に米國の中立を腑甲斐なしと論難したり。此時期の著書に於けるフィリッピンの對策上述の如し、以て達觀の進步共和派政治家の太平洋政策の一端を窺ふに足らん。斯人又米國の國防範圍を說きて曰く。

米國海防の目的は第一に、米國本土の海岸の防備、次に布哇アラスカ巴奈馬運河並に、之に近接したる地帶の防備此二者に外ならず。南米最南端の大國ブラジル、アルゼンチン、チリー等の諸國は、今や其基礎に於ても、勢力に於ても、十分の發達を遂げ、最早モンロー主義を適用する必要を見認むるに及ばざるに至れり。ウルゲー、パラゲー兩國に對しても、亦然り就中ウルゲーの如きは、現に長足の進步を爲せり。合衆國が此兩國の利益に關して考慮するの必要を感ぜざるなり。（同書同篇）

保守派共和黨が、モンロー主義を云々して、聯盟案に反對するは、新世界の大勢を理會せず、而して歐洲列國より脅威せられたる六七十年前の往事を追懷し、米國が自ら進みて歐洲の會盟に列するの時代を解せざる守舊思想歟、抑亦傳統的感情を皷吹して群衆を動かさんとする黨派的反對歟。何れにせよ、彼等が餘りに時代後れの舊說を頑守して、世界の思潮に伴はざる態度を笑はざるを得ず。之と同時に我一派の論者が、砂礫大にして、無價値の珊瑚島礁に戀々とし、宏大なる聯盟共同の領土を、各國民族に開放すべき機會を失はんとする主張を排するの要あるを確信する者なり。

□國際の戰爭と聯盟。文明の一大進步

聯盟規約草案は二十六ケ條の長文章にして、許多の事實を含むと雖、其目的は國際戰爭を豫防し、聯盟協約の違反國に對しては、其以外の諸國の聯合力を以て經濟的若くは武力的に制裁を加へ、以て世界の平和を維持せんとするに在り。古來國際の開戰を容易ならしめたる所以の者一にあらず、之を大別して一般の原因及び特殊の原因と爲すべし。惟ふに原始社會以來、弱肉强食の習俗を遺傳し、近代に至り、强者の權、實力卽ち權利といへる套語によりて表示せらるゝの思想は、戰爭を永續せしむべき一般の原因より、此以外擅制國の野心政治家及び好戰軍人が少數の速斷を以て多數の民衆を戰場に驅出すこと、戰勝の光榮を國民に幻示し以て一時の狂熱を發せしめ、禍害の眞相を熟圖反省するの暇なかしむること、過大の軍隊を設備し精銳の武器を蓄積し、貔貅をして髀肉の嘆を發せしむること、外交家が秘密の締約を爲して奇功を有事の日に博せんと計畫し、國民が領土の獲得に熱衷して其裏面に不測の慘害あるを慮らざること、是等の事は皆開戰を容易ならしむる特殊の原因なり。然るに今回の大戰

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

は獨墺土等の擅制武斷國を繋破し了り、戰禍の至慘は開戰を容易ならしむる諸種の原因を除くべき一大訓誡を世界に與へたりと雖、今後歳月を經過して列國が戰禍の記憶を忘却するに至らば、戰爭熱の再燃發生せざる無きを保し難し。聯盟協約は之に對して種々の規程を設け、以て開戰を防ぐの方策を立てたり。其要旨を擧げんに、曰く國際の紛議は或は之を仲裁裁判廷の判定に附し、或は執行委員の審議に附し、其判決又は勸告發表後三ヶ月後迄は開戰すべからず(第十二條)と。是れ一時の狂熱を冷却し其れをして反省せしむるの機會を與ふに、尤有效のものなるべきを信ずるなり。斯くて三ヶ月後と雖も相爭へる國の一方が判定若くは勸告に遵服するに於ては、他の一方の國は之に對して開戰すべからず(同條)と規定せり。若し此判決若くは勸告に服從せずして之を履行せざる國あるに於ては、其國に對して執行委員は之を履行せしむる爲めに最良と見認むる手段を提出し、(同條)爭議解決せざる時は執行委員會は總べて必要なる事實、說明、及び委員會が爭議解決に公平適當なりと思惟する方法勸告を記述したる報告を發表すべし。而して同報告に對し關係國代表委員を除きたる他の執行委員が滿場一致承諾したる際には、締盟各國は右委員會の勸告に服從する關係國と交戰せざることを協約す。若し關係國の何れか執行委員會の勸告服從を拒絕したる時は、右委員會は之を有效ならしむるに必要なる方途を提供す(第十五條)と規定せり。是等の手段は時日の經過によりて相爭ふ國人の反省を促すと同時に聯合の力によりて其勸告を實行するの效を見るべきを信ず。是等の方法を盡すも尙ほ委員會の意見を實行する能はざる場合に至り、此に經濟的壓力を加ふることを規定せり。曰く第十二條の規約を破棄し或は無視したる場合に於ては此破棄或は無視せし行爲を以て直ちに聯盟加入各國に對する戰爭行爲と宣言し其國に對して直ちに通商或は財政上總ての關係を斷ち聯盟加入各國民と破約國民との間の一切の交涉を禁じ聯盟加入國と否とに拘らず他の國民との財政商業或は個人關係を悉く防遏するの法を講ず此の如き場合に際し聯盟の規約保護に用ふべき兵力に對して聯盟加入各國は有力なる陸軍或は海軍を如何に分擔提供すべきかを按排計畫するは執行委員會の義務也と。此方式は古代個人爭議の曲直を私鬪に決したるの方式を廢し之に代ふるに法廷の判決を以てしたるの主義を移して之を國際に適用し、裁判判決の執行を國際の經濟的制裁に代へんとするに在り。或場合に於て係爭國が實力に訴へんとするも、少數の專斷を以て兵を動さしめず。又一時の激昂に乘じ師を出す能はざらしむるに在り。聯盟の諸國が誠意を以て此趣旨を確守するに於ては、多くの場合に於て兵力を用ゐずして聯盟委員會の決定を有效ならしむることを得ん。卽ち此決定に違反する場合に於ては、其違反國に對して、他の聯盟諸國は國交貿易を斷絕すべしとの制裁は、違反國民の生活に重大の壓迫を感ぜしむ、現代の文明は一國孤立して其國民の生存を遂ぐるを容るさゞるなり。吾人は此組織の斷じて空文に屬せずして極めて實行的のものなるを信ず。要するに聯盟諸國が此約文を守るの德性を有すること、猶個人が裁判を尊重するの德性を有するが如くなれば足れり。難者曰く、版圖廣大にして經濟力强大なる邦國の委員は、代表會及び執行委員會に於て過大の勢力を振ひ。之が爲めに決定に公平を缺くの虞あるべく、正義人道の表號の下に資本の壓迫を餘國に加ふるの畏あ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

らんと。吾人は軍國主義の時代より一躍して直ちに純理想主義の黄金時代に入るものと信ずるを能はず。列國多數の人心が純平として自己を抑損し他人に奉ずることを甘ずべしと想ふものにあらず。故に社會諸種の事に於て絶對の公平を期する能はずとせば、獨り國際の問題に於て總べて絶對の公平を期すること能はずと雖も、又之と同時に社會諸種の事に於て、總べて不公平なりと信ぜざるが故に國際の事に於ても、亦總べて不公平なりと畏るゝものにあらず。吾人は少くとも力即ち權利なりとの信仰が、正義即ち力なりとの信仰に破られたる世界の大勢を歡迎し此時代の思想を代表して具體的に之を實現せんと努力し、以て其組織を成立せしめたる人格を信ぜざること能はず。法廷の判決が個人の決鬪に代りたるを以て、文明進歩の一大段階なりと言ふを得べくんば、聯盟國代表者會議の決定が、國際の戰爭に代るを以て文明の一大進歩なりとして之を歡迎せざるべからず。若し國際合議の絶對公平を信ぜずとの故を以て、此組織の成立を呪ふ者あらん歟。吾人は之に對して曰はんとす、裁判の絶對公平を期する能はざる今日に於ては寧ろ往昔の決鬪を是認して之を復活せんと揚言する勇氣ありや否やと。

此他聯盟各國は、平和維持の爲めに、國家の安全に適應すべき程度に於て、國防を最小限度に縮小すること。及び各國が各地方工場に於て、軍需品及び戰時用具を製造するの弊害を防遏すべき方法を講ずべきこと（第八條）を規定せり。聯盟各國は共通の利害に鑑み、兵器彈藥の賣買管理を必要とする國に對する銃器彈藥取引の一般監督を聯盟に依托すべきこと（同條）を規定せり。聯盟各國は、今後締結すべき條約等を、悉く直ちに聯盟書記局長の許に登錄し又之を刊行すること（第二十三條）とせり。是皆開戰を容易ならしむべき特殊の原因を除かんとする者にして、所謂本を拔き源を塞ぐ所以の方策にあらざる無し。吾人は是等豫防の效力大なるべきを信ずる者なり。

□社會進化の繼續と其一大段階

吾人は繰返して、政治の變化は時代思想の反映なることを言ふ。時代思想を啓發し指導する先覺者と雖、一時に全部の革正を實現すること能はず、唯一步々々斷へず之を實現するの道程を進み行くを見るなり、米國の獨立は人類の平等を信じ其獨立自由を重じ、其行路に橫はるの障碍を除くの思想に立脚せることは、其檄文に明記する所の如し、ウォシントン、ジェファーソン等の先覺は、英國專制の羈軛を破碎するに於て成功したり、人類の平等觀、獨立自由の尊重觀は絶えず繼續し發展し、年と共に進化し成熟し八十餘年後リンカーンの精神努力によりて奴隷廢止の擧は政治的に成就せられたり。爾來五十年此理想は未だ社會的に成就せざるなり。然れども米國獨立の業を不完全として之を否認すべからず、解放の擧を有名無實として之を非難すべからず。人類は斷へざる進化の道程を步みつゝあり。聯盟規約の成立は之を進步思想實現の一大段階と見て可なり。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□我國の廢藩當時に於ける强藩

＝英米海軍今後の疑問＝

顧るに五十年前、三百餘の諸侯は我日本の國土を分領して、政治を其領内に行へり。更に三百餘年前に溯れば諸侯の權力甚強大にして各自其兵を領内に養ひ、互に攻伐力爭し、其狀現代の世界列國に髣髴たり。唯其範圍に大小の差異あるに過ぎず。然るに時代の思想大に進み、一變又再變、明治初年國内統一の大業成り、其後四年廢藩を斷行して現代の日本を見るに至れり。此廢藩の一大變革を行ふに當り之に反對するの領主あらん歟。力を以て之を制するの要あるを想はしめたり。此力は何處に之を望みたる歟、此改革の主動者たる薩長土の三藩は、從來自領の保全、若くは或る場合に於て擴張の目的に備へたる兵力を中央に提供して、之を改革斷行の保險に當て以て其目的を遂ぐることを得たり。現代世界に於ける英米佛伊日の位置は、五十年前我國内に於ける薩長土歟。英が其海國保全の爲めに雄大の海軍を擁して、容易に其力を減ぜざるは英を疑ふ者より之を見るに、其意測られざるものあり。米が主として國防軍備の制限を高唱しながら、自國は大海軍の戰時計畫を其儘實行せんとす。其事頗る矛盾の言動と評すべし。二國の態度を善意に解釋せば英は聯盟規約を破壞するの國に對して、之を力制する萬一の用に供せんとする歟、米は英の一國が獨り大海軍を擁して、天下之に匹敵するもの無きを慮り、自國の主張を擁護すべき海軍を設備するに在る歟、此海軍力は之を用ゐるの意思如何によりて其是非を判ずべきなり。吾人は二國今後の行動を鑑察し而る後確定の批評を下し、更に進みて其兵力減少を勸說するの機あらんとす。

□英人の反省

＝人種差別撤廢問題。日本の奇異なる位置。英領印度の不平＝

人種差別撤廢の問題は、之を明確に決定するの必要を感ずるなり。此一事に關して我日本は奇異の位置に立つ者なり。ヴェルサイユの會議に於ては、世界雄國の一と認められて英米佛伊と同格同數の委員を出し、國際聯盟創立の議に參せり。是れ我國が主として東南二洋の安寧を擔任し、更に進みて印度洋地中海の航路を保護し、又露領に出兵して其秩序回復に努力せしによるなるべし。國として此關係を有するに反し、民族としては締盟諸國の領土に住來移住活動の自由を得ず、英米の領土は廣漠無人の地ありて歐洲諸國人の自由を許すに拘はらず、一齊に東洋人を排斥するの態度を取り、之が爲めに我は不滿の念を長じ、彼は人權無視の誹を受け、屢次國際の交渉を重ねたり。人權平等正義人道を高唱して國際永久の平和を確保せんとする今日に於て、此問題に合理の解決を與へん事は、吾人の切望する所なり。是れ唯日本民族の爲めに抗論するにあらず、世界人口の最多數を占む

る東洋民族の爲めに立言するなり、此問題は英國政治家の尤も顧慮を要すべき理由あり、印度は英帝國の要部を占めて三億の印度人種を領内に包有せり、物質的改革問題は近年思慮ある英人の反省を促して、大に英國政治家の注意を引き著しく昔日の觀を改めたりと雖、其人種に對する觀念は依然舊套を脱却せずして、特に勞働者相互の感情は融和諒解を缺くものあり。南亞弗利加の英領はトランスヴアール戰役以後大に發達し、其海路道程の近く且便なる爲めに、印度の出稼人此地に入ること增加せり。此領土の英人が、此出稼人を虐待して地方政廳も亦不當の抑制を加へしが。ケープ殖民地方は他地方の如く太甚からざりしに、我大正二年中此風潮ケープ殖民地に波及して、印度人種の自由を抑壓する法律を實行せり。是に於て反抗の氣焰各地に擧がりて不穩の情態を現出し、本國の印度人と相呼應して印度領は動搖し、在龍動の印度倶樂部は「印度人は英帝國内何れの領地に於ても英國人民たるの權利を與へらるべし」と、英國印度事務省に請願するに至れり。印度總督ハーヂング氏は南亞政廳の行爲を非難し、予は印度人に同情して、此事件顚末を審査することに同意すと宣言したりき、然るに翌年印度人百五十名カナダ領に赴き、バンクヴアーに上陸せんとして拒絶せられ、此に一場の紛擾を生ぜり。是れ同年五月の事にして、超えて僅に三ケ月、英獨開戰したりしかば、英國は印度人民の嚮背に深く懸念し、獨逸は印度に此釁隙あるに乘じ、特に其回敎徒を煽動して叛亂せしめんと企てしが、英國の綏和政策鎭撫の功を奏して、多數印度兵の出陣を見るに至れり。此の如き試驗を經て兩者の間、著しく接近し來り、新内閣組織せらるゝに及び、印度の人シンハ氏の名を印度事務省次官に見るに至れり、オーストラリア、ニユージーランド、カナダ、アフリカの諸領は印度と同く皆英帝國の要素なるに、其住民は同一帝國の一要素地に住する印度人を唯種族の異なるの故を以て、移住活動の自由を彼等に與へざることは、眞に不合理の待遇又尤切迫せる問題として合理の解決を待つものなり交通の開達と共に文化普及し文化の普及と共に、人類同等の自覺を生ずるは是れ必然の趨勢にして又現代の特徴なり。神は萬民の父にして、人は同胞兄弟なりとの敎旨に養はれて、人類同等の義を自覺したる、歐米の民族が單に肌膚の色によりて人類を區別し、一切の理由を抹消し無視して、生存必要の自由を歐米以外の民族より一齊に奪はんとするは。彼我の平和を永久に保續する所以の合理的方法にあらざるなり。吾人は聯盟規約草案を讀み、其第十九條に委任統治國は聯盟加入の他の國家に對し、通商貿易上均等の機會を附與すべし」といふに至り。一歩を進めて移住活動の自由に關し、相當の規程に言ひ及ばざるを遺憾とし。之に適當の文を補足して以て新光明を此點に發輝せんことを望まざるを得ざるなり。

□合理の制限と其實例

=人種問題、社會問題、政治問題=

吾人は、前述の冀望を切言すと雖、列國内治の必要上或種の制限にして、苟も合理なる制限ならんには、之を許諾する者なり。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

吾人は特に合理の二字を高唱す。其一例として左の事實を擧げん、資本勢力の脅制に對抗して適當の位置を保たんが爲めに、勞働組合が或る程度の賃率を維持する地方に低價の勞力を大に輸入し、以て勞働組合自衛の力を無效ならしむるが如き結果あらば爲めに組合の反對を誘起して、意外の紛議を醸生し之が爲めに平和を破るに至るべし、是の如きは其國自主の立法によつて合理の制限を置くも之に反對せんと主張するにあらず。是れ人種問題にあらずして別個の問題に屬するものなり。或は他國に移住して其共存協力の公務に服せず、或は偏へに故國の利益を計りて移住國の不利を醸し、甚しきは其國の危虞を招くが如きは、是れ政治問題にして人種問題にあらず。獨逸民族が諸國に嫌忌せられて放逐の運命を取れる如き其一例なり、吾人が所謂人種區別撤廢とは、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アフリカ、米合衆國が天與の廣土を擁し、西洋民族を招徠して特に東洋民族の上陸を一齊に拒絶し、機會均等の待遇を否認するに抗議するなり。吾人は獨立國が或る場合に於て、或る時期に於て經國の必要上他國人の入國を拒み、移民を拒み若くは之を制限するの權利あることを見認む。然れども某國の移民を許可し、某國人の入國を理由なくして拒むは不合理なりと抗辯する者なり。聯合國の管理に屬すべき舊獨領其他の殖民地に於ては、首として人種區別を撤廢し機會均等の活動を許し、漸次之を推して世界に及ぼさんことを主張する者なり。

若し夫れ、從來人種區別を立て入國移住活動の自由を拒否せし國に於て、經濟上政治上公明の理由を表示し、何人も首肯すべき理由果して存するとせば、拒まるゝ者も亦自ら顧みて其理由を考慮し、之を解決するの方法を講ぜざるべからず。或は移住者自ら進みて其國の勞働組合に協議し、其規程を守るを約し、或は其組合に加入して、其と共同の行動を取るべく、又其地の習俗に異なる行動を取るを避け、努めて協調の態度を取り人類共通の德義を守り、以て公共の和睦を保つことに注意するを要す。吾人は合理の待遇を彼に期待すると同時に、我も亦合理の進退を爲すべきことを考慮せざるべからず。古人曰く、『言忠信、行篤敬ならば蠻貊の邦と雖行はれん』と。況や文明の空氣を呼吸する國に於てをや往く者の心事は宜く此言の如くなるべく、『己の欲せざる所之を人に施す勿』と。待つ者の心事は須らく此訓の如くならん事を勸む。

□歸化權の獲得

＝布哇の近事＝

在米邦人は、歸化權を獲得せんとして、多年之を米國政廳と其法廷とに論告したり。然るに今回の大戰に際し其徵募に應じ兵役に服することを承諾したる者に對し、米國政府は豫告の如く之を許容したりといふ。布哇に於ては歸化權の獲得者百二十餘人と傳へらる、其家族を合せて五六百人に達すべし。吾人は双方の意思次第に疏通し、感情從て融和し、風俗も亦接近し來りて此問題が漸く合理の解決を得んとするを欣快とする者なり。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□結　　論

社會は進歩の道程を踐みて徐ろに理想に近きつゝあるなり。「力卽ち權利なり」との信仰が消滅して「正義卽ち力なり」との信仰となる、是れ進歩の一大段階にして、吾人は人類の爲めに此變化を歡迎す。然れども是唯一段階のみ、吾人は此基礎に據りて前途幾多の新境を開かざるべからず。是に安じて滿足すべきにあらず。然れども其完全にあらず、理想にあらざるの故を以て、其實現に努力せし人の功勞を否認するは不可なり。其精神、其誠意を疑ふは尤も不可なり。現下尙其餘りに理想に趨ることを尤めて其實行を阻礙せんとするの舊守思家あるを思へ。嗚呼、時代に先だてる進歩思想の要點を捉り來り、之を具體化して新路を世界に開きたるは、之を稀有の成功と稱せざるを得ざるなり。（完）

最近の廓淸運動

▲本部理事會

二月一日午後五時半本部樓上に理事會を開き國際聯盟會議や人種差別撤廢問題の論議せらるゝ際、我等は一、海外醜業婦の取締を嚴重ならしめて國辱を防ぐ事。二、國內に於ける差別的待遇たる奴隸制度を打破する事。三、米國が憲法を以て禁酒を宣言し、我國亦幼年禁酒法の議會を通過せんとする際、衞生を裏切る廓內に於ける飮酒を嚴禁せしむる事の三運動を大に起すべきを議決す。出席者

會長島田三郎。理事益富政助。小松武治。伊藤富士雄。主事伊藤秀吉

▲新年會員懇談會

別項理事會に引續き會員懇談會を開く。席上平岩愃保氏在米日本人の狀態に就て詳細なる視察談あり、會長の感話ありて片山博士の禁酒と廢娼に關する意見、三輪田元道氏、高岩義政氏、益富政助氏、西村勘之助氏、戶塚運平氏、曾根正藏氏守屋東子等の五分演說あり。別項理事會決議の三問題實行に關する資金募集の協議に入り、益富氏は運動費を千圓と定め內四百圓を傳道機續委員會より寄附あるべきを述べ、且つ三百圓は林歌子女史が大阪方面に於て募集の約あれば殘金三百圓を募りたしと說き、直に高岩義政氏內百五十圓を引受けんと述べられ、島田會長百圓、三輪田元道氏二十圓、井上胤文氏十圓、吉田彌之助氏五圓、卽時寄附あり。尙從來主事伊藤秀吉氏の無報酬にて献身的奮鬪に對し、及び西村辯護士の法爭上の援護に對し會長より感謝の辭あり。

（出席者）

島田三郎　福島四郎　田丸よれ子　戶塚運平　酒井代作
島田夫人　小松武治　井上胤文　吉田彌之助
片山國嘉　益富政助　西村勘之助　水津諦介
三輪田元道　伊藤富士雄　高岩義政　黑川銳雄
平岩愃保　守屋東子　曾根正藏　伊藤秀吉

▲評議員補缺推薦

評議員大倉文二氏逝去によりて一名缺員となり居りたるに對し、新年懇談會席上滿場一致を以て醫學博士、片山國嘉氏を評議員に推薦し、直に同氏快諾の辭ありたり。

▲廓淸會大演說會

二月二十七日午後六時半、神田一ッ橋女子職業學校に於て男女問題大演說會を開く。伊藤秀吉氏開會の辭を述べ、第一席三輪田元道氏「虛僞の生活」と題し、第二席高岩義政氏は「思想の矛盾と日支藝娼妓」と題し、第三席島田三郎氏は「人種問題と廓淸の事業」と題し、第四席聯合軍慰問團長日疋信亮氏は公娼問題に就て、第五席片山國嘉氏は「禁酒の意義に就て」と題し、第六席益富政助氏は「近時の三大問題」と題し何れも有益なる演說あり、十時半閉會來會者七百名。

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

私娼の默認を論ず

廓清會副會長
早稲田大學教授　安部磯雄

一　當局私娼撲滅の困難を悟る

近頃新聞の報ずるところに據れば、（十八頁參照）政府は私娼を認めて、これと同時に私娼に對しても、一般に身體檢查を行ふやうにするといふことである。これに就いて聊か意見のあるところを陳べてみる。

政府は果して私娼を認めて、これに對して身體檢查を行ふや否や、今猶疑問にして、政府は多分實行し難からうと思へど、然し斷言はできぬ。といふものは政府が公娼制度を飽まで維持することの中に、多くの矛盾あるを信じてゐる。差當りの矛盾は、政府にしても之を感ぜずに居られぬ。元來公娼制度を維持する說の唯一の根據は、黴毒蔓延を少くするといふにある。殆んどこの一點に歸着してゐる。ところが此の議論から見ても、政府にては私かに困つてゐることは事實である。何んとなれば公娼は檢查することを得れども、私娼は檢查できぬ。然るに私娼の病毒は多い。私娼の全體の數の半分も出來ぬ。私娼は殆んど公娼の二倍以上あるのである。それて政府も手が屆かず、これではとても病毒を防ぎ切れぬといふところから、政府は私娼を撲滅するには、これを驅り集めて公娼とせずば、議論が徹底しないといふところから、先づこれが實行を東京市に試みた。私娼撲滅を試みた。けれども唯一時無くなつた如うに見えたのみて、然しその後に至りて、いろ〳〵と形を換へて私娼が出來た。恰も夏季田舍にありて、室內一部の蒼蠅を追拂ふ如うなものであるとても盡きさうも無い。そこて私娼撲滅は、警察の手では及び難いことを知つた。政府の苦痛は此にあるだらう。此の點から政府も困つて了つて、私娼撲滅の方針を改めて、私娼を默認して、出來る限りの方法を盡して、私娼に對しても身體檢查を行ふといふことを傳ふるに至つた。實に止むを得ぬ窮策から出たことゝ察せらる。

二　藝酌婦二枚鑑札は公娼倒潰

私娼を默認して、身體檢查を行ふことの效果如何は、姑くこれを置きて、とにかく試みるが可いと思ふ。私娼を餘り嚴重に取締らずに、警察の眼てみれば、大抵私娼を營んでゐるか、何うかといふことが解る。これを取調べて、身體檢查を受けよと勸める。寬大に取扱ふ故に、身體檢查をうけることを避けるなと諭す、さうして其の爲に病院を設け、また醫者

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

を頼み置きて、これを試むるが可い。その代りに之を試みたならば、公娼制度の維持てきぬことを證明し、政府は公娼制度の不可いことを悟るてあらう。此に於て、吾等は多年主張したるところの徒事ならぬを確めることができる。吾等は取て自分等の主張の勝利を誇るのではないけれども、その結果は自然に公娼制度が倒るゝやうになる。

吾等は私娼を認めることが、公娼制度よりも可いといふに二つの理由がある。その一は人道主義の立場からてある。今日公娼といふものは、全く奴隷の取扱をうけてゐる。それが私娼となれば、確に幾分か自由を得る。自由廢業もできる。抱主の殘酷なる手から脫する。私娼制度となつても、抱主といふものが幾らか存するも知れぬ。然し抱主に抱へられぬ者ができる。二三人組合つて營業し、或は一人で自由營業をやることにする。さうなれば今日の公娼制度よりも、人身の自由を得、人道的見地より考へてみて可い。身體檢査を必要とするが、別に罰を受けぬなれば、公娼を止める。二は一區域にて、堂々たる建物を建て、その內にて飲食する公娼制度の設備にゆくものは、金を多く費す。私娼の設備は、簡單で足るゆゑ、金は少くて事濟む。この點からして、公娼制度よりも、私娼制度が景氣よくなる。この二つの點からみて私娼を默認すれば、私共の平生主張した通りの結果が生ずる。政府は私娼も成る方法で、身體檢査ができると分れば、公娼制度を廢するに足る。新聞に風說として傳へてゐるに過ぎぬけれども、政府當局はこれを眞面目に熱心に試驗的に遣つてみるが可い。

三　身體檢査の効果

それならば然うすることが理想的かといへば、勿論然うてない。吾等は私娼制度を贊成するものてないことはいふ迄もない。唯公娼よりも私娼がよいといふのてある。政府が私娼檢査を行つてみて、その結果は、やがて身體檢査といふことの、效果の極めて少きことを知るに至るてあらう。身體檢査の效果は、歐洲に於ける幾多の經驗によりて略ぼ知るに足る。獨逸のハンブルヒにては、公娼私娼を兩立さして居る。一區域に抱主のある公娼があり、一區域には私娼を許してある。ところで其結果を考ふるに、私娼も公娼も病毒の統計に現はるゝところは差異がない。日本も私娼に身體檢査を實行してみれば、その結果は公娼と異ならぬを知るに至るてあらう。さるに英國は私娼制度を許して、身體檢査を行はぬ。これは人權を重んじて行はないのてある。婦人の身體檢査するといふことは、本來人道に外れ人權を蹂躙する制度てある。この故に英國では教育上その他の方法を以て、身體を愛護することを努めて敎へる。英國にて兵隊檢査などについて、青年の身體檢査をしてみるに、歐洲大陸の如く病氣が多くない。日本にても身體檢査を試みたる後、遂には檢査を行はずとも可いとする時が來るに違ない。病氣の怖るべきことを知らすれば、誰も我身を大切に思はぬ者は無いからして、衞生治療を怠らぬやうにする。今日のところては抱主といふものがあつて、少し位加減が惡くとも休養させぬゆゑに、病氣の重くなる場合が多いやうて

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ある。私娼となれば、休養することは自由である。故に小冊子雑誌などを配布して、衛生の重んずべきを敎へ、或は女子の醫師も多くすることとなれば、それら專門の醫師に依賴して個人々々に養生方法を說き聽かするも可いであらう。さうなれば公娼制度を全廢し、私娼を默認したる後、遂に身體檢査を行はずとも敎育的方法によりて、病毒を防ぐことができるやうになる。

それから更に進んで、敎育上、宗敎上、十分なる感化の普く及ぶに至らば、醜業婦といふもの丶一人も無いやうになる時期が來ることを期待される。勿論これは容易に望まれぬ。然しとても實現し能はぬこととはいはれぬ。又當分私娼を存するは止むを得ぬと假定しても、今日の如く公娼を許して、人を一家に閉ぢこめて、自由を與へぬ殘酷なる行爲をも忍ぶ制度は、速にこれを廢止せねばならぬ。身體檢査は人を侮辱するものである。婦人自ら自分にて氣を附け、病毒を豫防することのできるは、英國の例によりて、明かに知るとができる。

◇藝酌二枚鑑札乎

內務省窮餘の策

近年賣娼婦の跋扈跳梁が日本全國に亘り、弊害愈々甚しく當局の取締も困難を感じ世間の批難益々加はつたので、內務省は各縣下警察部に是れが撲滅を促した結果、風紀を紊す者殆ど其の跡を絕つのたもほんの一時的で、現在全國に在る四萬五千餘人の酌婦と五萬三千餘人の藝妓は風紀を紊す事夥しく、且當局が撲滅したりと看做した賣娼婦約二萬餘は、再び頭を擡げ益々風紀を紊亂しさうなので、當局も彼等十二萬餘の私娼に對し嚴重なる取締を斷行するの要を認むるに至つて、當局年來の希望たる集娼制を斷行することに略內定し、近く內務省令で發布されるさうである、其の內容の主なるものは從來の藝妓、酌婦に對し二枚鑑札即ち藝妓には藝妓鑑札と娼妓鑑札、酌婦は酌婦鑑札と娼妓鑑札を受くる事となり、從つて强制檢黴を實行するさうである、が藝妓に對しては多少の論議もあつたが結局實際藝を以て左褄を取るものに對しては從前通り一枚鑑札となし俗に云ふ不見轉藝妓には强制的に二枚鑑札を交附するので、現在約五萬三千餘の藝妓中約十分の八までは右の二枚鑑札を命ぜらるゝに至る譯である、然して右省令の發布と共に日本全國に亘り十四萬八千餘人の賣娼婦が認られた譯だ

右に就て小幡保安部長曰く『目下藝妓、酌婦の二枚鑑札の問題が內務省に起つてゐるといふ事は、果して眞か僞か未だ聞かない事である、自分一個人としての考へては決して、實行さるゝものであるまいと思ふ、一體今の藝妓といふものを見ると大部分は公娼的行爲をやつてゐる、若しこれに對して二枚鑑札を下附するとすれば、到る處公娼が横行して其風俗は紊亂されるのであるから、之を想うても到底出來ぬ相談である、斯る公娼的行爲ある藝妓は、悉くこれを遊廓指定地內に入れて公娼とし、其の藝を以て立つものを藝妓とせねばならぬ、而して一方斯く密賣の增加するのは何故かといふと現在の娼妓そのものが時勢に適應せぬからで之れには現在の公娼なるものを解放して營業は遊廓指定地に於てするもその外出の如きはモ少し寛大にして十分社會の風俗習慣に染ませ智識を增させねばならぬ斯くして從來の如き不自然的公娼は漸次實際社會的とならば「不見轉」藝妓となるべきものも自然公娼となり公娼の數を增して自ら市井風俗を紊しつゝある私娼を減殺する事も出來、衞生上の取締も出來やう、只だ藝妓酌婦に對し二枚鑑札を與るのでは、市井の風俗を取締る事も出來ず、之を悉く遊廓指定地に入たのでは、又再び密賣婦も出來る譯で、要するに娼妓の改善が必要である』。

以上は各新聞の報道する處であつて本會はまだ直接當局に尋て見ないから分らぬが恐らくは誤報であらう、けれ共如何に現在の公娼が設置の意味をなさぬかだけは明に看取されるてはないか。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

西比利亞に於ける我同胞の實狀

婦人矯風會總幹事　林歌子

△西比利一帶無秩序＝
＝英語不通爲旅困難▽

私は、西比利亞より數日前に歸りました、旅行するにも便利で、四十八時間目に漸く西比利亞の野に入りました、旅行免狀が八ケ間敷、願ふにも寫眞を附けてゝ其の手續が煩雜であります。浦鹽は御承知の通り西比利の咽喉であつて却々繁昌して居ります。露國の瓦解と同時に本國よりの避難民が、餘程多く入りました赤衛軍や日米の軍隊も居つて、今では漸く秩序も整頓して居り、商店櫛比し工場其他の設備完全して居つて、商業も却々繁昌であります、一般人氣は沈衰のやうでした。

浦鹽の人口は三十萬にも上つて、其中日本人は約五千位に過ぎないてあります。それから浦鹽を出てハバロスク市に參りました。四百七十哩北位でありますから隨分寒うございます、併し東部西比利亞での都で、總ての建物は宏壯であつて且つ堅牢に築かれてゐます人は馬に橇を引せて乘つて居ります、市街は黒龍江に臨んで居つて冬期中は一面氷で塊まり、其の厚さは何れも六七尺で四月になれば非常な音をして氷が砕けると云ふ事であります、解氷後のハバロスク市は隣に川に交通便利で商家が殷賑であると云ふ事でありました。それからニコリスクに往きました、そこで乘替へて哈爾賓へ參りました、汽車旅行ですが、日本の内地で思ふやうに秩序整然たるものでなく、不規則極るのであります。辨當賣もなく、唯停車場で水を飲む位です一向に其の統一が附いて居りませぬ。初旅行者として隨分不便に思ひました。ホンの饑を凌ぐ丈け自らパンを携へて乘車する樣な有樣で、一方に軍隊輸送で混雜して居ります、第一英語は通ぜず、何事も分らぬと云つたやうな、之れには一番に閉口したのであります。唯獨逸が勢力あつた、許り西比利亞の勢力範圍は何と云うても獨逸でありませう。然し獨逸語も餘り話しゝないやうで上流の方では佛蘭西語がチト解かるやうであります。

△封建的思想の反動＝
＝露大國の土崩瓦解▽

それから驚いたのは思ひの外に教育の程度の低級なる事であります私も今迄不思議に感じつゝあつたのは彼の大國である露國が革命のために一朝にして崩壞したのであるが、何う云ふ譯であのやうな悲慘な破目に陷つたのかと考へてゐましたが、成程專制であつた爲め、人民に自由を與へず、多年專制主義で壓迫し來つた反動が遂に斯樣になつた。即ち「之に據らしむべし、之を知らしむべからず」と云うたやうな、封建思想の反動である事は否まれざるのでありましやう。教育と云ふものは大切なものでありまして、東部西比利地方で文字を知つたものは百人中廿人位他は何れも無學であると云うても宜いのであります。確に教育には無頓着であります。又宗教を見ると何處に往つても立派な會堂が建立されてあるから、宗教には信仰が厚いに違ない、他國の人よりも純粹の露人になれば矢張り質朴な氣風が滿ち充ちて居るてはないかと思はれます。それから、西比利亞の過激派が一時跳梁したが、矢張り猶太系統の獨逸人が大半居るので、是等の系統の宗教が多いのは事實であります。さうして又過激派となつたものも、是等の系統が多いと云ふ事でありますが、純粹の露人は質朴であつて宗教心も厚いが、猶太系統の過激派になれば徹底したる自覺、信仰を以て居らぬと思ひます。

△哈爾賓郊外に殉國の＝
＝我が志士の靈を弔ふ▽

それから、哈爾賓に參りましたが何と

なく胸裡を衝くものは、彼の日露戰爭の時分に軍事探偵として働いて發覺して、不幸にも銃殺の刑に就た横川、沖二勇士の事と、それから伊藤公が命を殞した土地であるから、吾々日本人としては各地の人は餘り印象を持たぬでありましやうが、吾々本國のものとして國家とか愛國と云ふ點より見れば、洵に滿腔の熱誠を以て、是等の人々に敬意を拂はずに居られぬ、さうして、先方に居られる日本人の吾々同胞の間にも、是れ等の人の爲めに建祠の内相談もありましたから、近く何等か計畫が形に現はれるだらうと思はれます。私も其の刑場の地に歩みを運び敬弔したのでありますが、當時の感慨を喚起されます。それから段々と南下して長春を通過しましたが、此處より汽車に乗り心地も宜く沿道を見ると實に住込み宜い心地であると思ひました、總て南滿の經營であるから彼處にも此處にも社宅があつて、何となく本國の住家と同じ感じがしました。總ての事が宜く行屆いて居つて、喜ばしい現象であると思ひました。

△歸國の途朝鮮經由＝

＝無量の感に打たる△

それから朝鮮を經由して歸國しました、が朝鮮では一種云ふべからざる感に打たれましたと云ふのは、彼の朝鮮に就ては是迄我帝國では、幾多の苦痛を忍び又幾多の犧牲を堵して得た土地であると云ふ觀念が湧起しました、早や最う幾多の年を經て內地よりも移住し、さうして今や人口三十萬餘に上つて居ると云ふのであります、我が同胞の奮闘を見たりして大に感慨が起つたのであります、以前は朝鮮の山は禿山でありましたが、總督府官制が布れてからは此の禿山には到る所に植林の計畫を見られ、木も相應に生へて居るのであります。

我が版圖に歸してより斯く統治の實蹟が上り喜ばしい事と思ひましたが、私一行の朝鮮に着きましたのは恰度御大葬の時でありまして、非常な人出でありました、朝鮮ホテルから眺めましたが鮮人は矢張り白衣を纒ふて居ります、あれでは洗濯には何れ程手數がかゝらうかと思ひましたから宜く聞いて見ましたが近年白衣では手數を要するので黑衣に改めるやうになつたと云ふ事です、實に白衣では不經濟であるから私共も是非早くさう改めさせたいと思ひました。それから私共も是迄朝鮮に住かれる人々には、斯う申しました到處に青山ありと云ふ事、移住するのであるから何處も同じであるから住つたら內地に歸らずに、先方で墓場を作ると云ふ決心でいかなければならぬと斯う勸めるのであります、さうして朝鮮を開發扶導する決心を以て望まればならぬと斯う申して居ります。是迄我國の事、日清日露の二大戰爭を經來つた、我國の事を思へば實に一口で云現せば、天祐と云はればなりませぬ斯く迄我が日本が發展したかと思ふのであります、今や時は歐洲大戰の餘響を受けて、世界改造と云ふ時代であつて、今迄の進歩を遂げた日本人として、世界に雄飛するの時期になつて居るのも、是等幾多の人が犧牲になつて血で購つた貴い土地であると思ふのであります。

△戰後の大方針は商工業＝

＝輸出品の道德的改良▽

叙上の如く、今は世界の改造に際して遠く佛蘭西には我が全權委員が協商に衝つて居ります、が吾々は思ひます、如何にしたら我が日本は、世界の表面に立たれるかと、斯う云ふ問題に注目しなければならぬと思ひます。日本では年々五十、六十萬宛の人が殖えるが土地は狹い、人が無限に増加すると云ふ事になれば將來と云はずも、今一大苦痛を感じて居る事は自明の理であります。何うしたら世界の平和の舞臺に乘つて、日本人として後れを取らぬ事にならうか、と然らば何うしたら良いのであるかと云ひますなら、何うしても斯うしても今後は商工業を盛大にしなければならぬので、産業の方に眼を注いて其の土臺を作らねばならぬのであります。此の方に開拓開發するのは今日の日本として取らねばならぬ事であ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ります。西比利亞にいつても何うてしやう、人間各個の生命、財産などは不安てあつて何共申されませぬ。彼の四月中でありました。吾々日本の同胞の一人が生命を奪はれ、一人は重傷を負ふたので、皆樣も御承知でありませう、浦鹽で過激派の爲めに殺られたのであります。それから日本に歸る時でありましたが、汽車中で日本の將校に會ひました、本國に歸られたなら、是非商工業者のお方に逢ひましたら、話しをして下さいと賴まれました、それは日本より來る物品は、賣易いが、殘念な事には壞れ安すい、船來のやうに堅牢なものを製造して、此の方に送つて下さい、さうでなければ外國品に厭倒されるやうになりますから、と斯う申されました、成程今日迄の日本よりの輸出品は唯儲けのみ多くして品質之に伴はないのでありました。

△西比利亞全土は人口稀＝
＝薄で購買力も大なり▽

本當に將校の申された如く、今後の商品は確乎したものでなければ駄目てあります。藁人形に美衣を纏ふたやうな、之て宜い品物として西比利亞に送つても駄目てあります、本當に素質も良く堅牢てなければいかぬ。御承知でもございましやうが、西比利亞全土の人口は三百萬人てありますと假定すれば一哩の人口三百五六十人として日本の一哩の人口はその八十倍に上つて居るのであります。從つて購買力も日本內地で考へて居るとは、天地霄壤の差があるので、大量のものであります。一錢十錢の購買力ではありませぬ、大きく十五圓とか二十圓以上であつて、日本の內地で使ふ金と桁が全然違うのであります。それから勞働者も日本の勞働者に較ぶると違ふ、日本のやうに朝早くから出稼ぎはせぬ、そこにいくと悠々たるもので、宜く朝寢をする、十時頃になると出て往くので、商店でもさうである、十二時近くなると一旦店を閉ぢさうして飯を食べるので、午後になると又戶を開けると云ふ調子で從つて勞働の時間も少ない、金持も多い、購買力も大きいから、日本の商人は一ト奮發すれば一葦帶水を距てゝ居るとは云へ、交通にさう不便でないから一大奮發をされるのてあります。そこにいくと獨逸人などは機敏と云ひませうか、大膽と云ひませうか、恰度日本內地で申しましたなら、富山の賣藥のやうな賣捌であつて、物品を置いて證劵を取つて戶々を賣捌いて居る獨逸人の遣方は、恁う云ふ具合であります。それで物品が良い品であると云ふから、日本人などは大に注意せねばならぬと思ひます。

△我が矯風會の權威として＝
＝海外醜業婦を根絕せしむ△

斯く申上げましたが、西比利亞と云ひますと、如何にも氣候寒冷で住込むには一大苦痛であるやうに內地の人は、さう思はれませうが、決してさう云ふものではない、寒い事は寒いけれども、防寒の設備も完全して居つて、宅內での仕事に從事して居るものは薄衣で働いて居ります。內地で思ふ程ではないから大に努力しなければならぬ、日本より隨分參つて居りますが種々の商賣人が入つて居ります。西洋洗濯とか、大工であるとか、此中で一番私共が苦痛と恥辱であると感じたのは、賤業婦と云ふ一つの商賣であります。之は何れも數ある商賣の內て、最も恥辱であつて、吾々同胞のものが海を超えて彼地に涉つて身を賣り、血を汚し

て居るのであります。それで吾々は、斯る行爲は人類の上でも悪いので爲すべきものでなく、爲すべからざるものであると知りました、ですから此事が我が日本の恥辱であつて、之が救ふ道を講ぜねばならぬと思うて、起つたのは、廿三年に創立した婦人矯風會であります。さうして毎年議會に建白をして居りました。其中の一つは卽ち海外醜業婦の撲滅であります、先年米國シャトール市にも、是等の視察に往きましたが、當時同市の領事さんの奥さんが、日本服を着て、買物に出掛けると何うも醜業婦と間違へられて困る、それ以來は矯風會の徽章を附けて行きますが、何うも困りますと云ひました、日本服を着て歩きますと直ぐ醜業婦と見られます。

獨り醜業婦は米國許りでなく、南洋、新嘉坡、支那、滿洲到る所に活動して居ると云ふやうな、恥しい振舞を何とも思はぬのであります。此の前、皆さん新聞で御承知でございましたらう、比律賓では日本醜業婦百四十名程追ひ拂はれたと云ふ事でありました。是等の醜業婦は天草島原產であります。今回視察に參りました西比利亞地方では、支那人の妾になつて居るのもありますが、大部分は一夜色を漁らせると云ふのであります。吾々が視察に參つたが、實際は彼等醜業婦の内でも狼狽したと見えます、孤鼠々々浦鹽より敦賀行き汽船で歸つたと云ふ事をも聞いては居りました、醜業婦の中には斯樣の事を申して居るさうです、妾等は海を涉つて來て働いて居つても、親も承知である、金を獲れば兄弟にも送金して居ると斯う臆面もなく云うて居るさうです、それから其の巣窟と云ふものがあつて、内々で保護すると云ふやうな事もあるさうです、假令へば少女を誘拐するにも恁んな田舍に燻つて居るよりは、立派なホテルの下女とか某家の女中に世話をするから、其處に往かないか、時には「氏なくして玉の輿」と云ふ僥倖にも廻り逢ふ事ないとも限らぬと慫慂するから、淺はかにも其の口車に乗ると云ふ事になるのであります。

多くは斯樣の事で誘拐されて來るのが多い、醜業婦としては朝鮮の人や、支那人は獨りも居らぬと云ふに、我が日本のもの許りであります。甚だ外國に對して恥辱である。何うしても我が同胞の海外出稼の醜業婦をして反省せしめ根絶せしめねばならぬと思ひまして、今回西比利へ參つて此の方面の調査しましたが、矢張り豫想以上活動して居りました。之は一つの罪惡でありますから、是非身體を汚すと云ふ事を恥と考へまして、改めしめると云ふ事に致したいのであります。何うしても斯う云ふ事は根絶すると云ふ事になれば、根本問題は敎育に待たねばならぬのでありますが、吾々が先鋒に立つて斯う叫びます、醜業婦々々と申しましても等しく神の子でありますから又其中斯る行爲を恥ぢて覺醒して正業に就かぬ者もないではなからうと思ひます。將來の善良なる國民を作りたい其方針の下に吾々が斯く奔走致して居ります。(未完)

西比利醜業婦問題演說會

三月七日婦人矯風會主催の下に西比利醜業婦問題演說會を神田青年會館に開く。午後六時半守屋東子女史の開會の辭に次いて、矢島楫子女史の祈禱ありて、林歌子女史は本項の如き演說をなし、河合道子女史は『水源地の清濁』と題し、久布白落實女史は『我等何を爲す可きや』と題し、何れも熱心有益なる演說あり聽衆に多大の感動を與へ十時半閉會、來會者千名。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

女大學新評論（十一）

一條忠衛

以上は易に對する一般的批判であるが次に其の男女道德觀の方面を考察して見なければならない。先づ易では天は尊くして地は卑しいと觀じたのであるが、是れは抑の誤解であつた。第一に天地と云ふ言葉は非常に曖昧な言葉である。今日の天文學から見たならば、此の謂ゆる天とは物理的空間に當り、地とは恒星又は遊星などの天體を指したものに外ならないので、他に何の意義も無いものである。換言すれば天地とは宇宙又は自然と云ふに外ならないので、別に學術的に理由を有する譯のものでは無い。大古の未開人が高い蒼空を無限大に考へて天と名づけ、地球の表面を平面圖的に無限大に考へて地と名づけたに過ぎない。縱令これを人格的に解して天帝地祇を說いても、其れは原始宗教としての拜天思想に過ぎないので、今日に於ては一個の迷信たる價値しか無い。さうして萬有引力に由つて支配されて居る所の力の方向に面して、地平說から素朴的の考を加へ、一方を天と稱して上と爲し、其の反對の方向を地と稱して下と爲した迄である。そして蒼空を高く尊いものに觀察し、地殼を低く卑しいものに觀察し、兩者に貴賤の思想を配して牽強附會の說明を試みたものに外ならない。然るに易に於ては此の天尊地卑の思想を無上大法として尊び、天の道として崇めること甚だしく、之れを人事の一切事件に應用したのである。先づ男子を天に比して尊い者と爲し、女子を地に比して卑しい者と爲し、王を天に比して貴い者と爲し民を地に比して卑しい者と爲した。是れが東洋の社會に於ける倫理道德の根本的誤解であつて、毫釐の差は遂に千里の繆を生じ、男尊女卑官尊民卑の思想に化したのである。次にこの地に於ては天の陰陽の道によつて、剛柔の性が生ずると爲し、先づ萬物の靈長たる人間に於ては、男子は剛であつて女子は柔であると爲し、剛たる男子は天に位し、柔たる女子は地に位して居ると爲した。さうして剛たる男子は天より地に向つて運動し、柔たる女子は地より天に向つて運動する時に、柔が上つて剛が下ると云ふ形になり、二氣感應して始めて其處に婚緣と云ふことが行はれ、夫婦を成立すると說くのである。次に天地には內外の位があると爲し、地は內に位して天は外に位すると爲し、從つて女子は位を內に正し、男子は位を外に正すべきもので、之れが天地の大義であると論結した。

□□□□

以上は易に現はれた男女道德の倫理學

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

的基礎論であるが、然らば之れに由つて實際に規定される男女の各論的道德は果して何う云ふものに成るかを推測するに難くないのである。先づ第一には男尊女卑となり、男子は命令者の地位に立ち、女子は隷屬者の地位に陷り、男子は女子を玩弄し、女子は之れに貞操を獻げ、和順を以て婦德の第一義としなければならぬ運命を招くのである。從つて一夫一婦の人倫は行はれずして、一夫多婦の流行となり、人身の賣買となり、貞操の切賣となり、女子は全く男子の犧牲者となり、忍辱盲從を以て生活の典範としなければならぬ事になる。第二には男女不同權となり、男子は剛と云ふ倫理的原理によつて一切の自由權を掌握して、道德、法律、政治、經濟に對して我儘勝手な規則を設け、女子は柔と云ふ倫理的原理の下に支配されて一切の自由を束縛され、最も不平等なる生活規範の桎梏に繫がれることになる。第三には男子本位となつて相本位の思想を失ひ、男子は社會の公事又は職業を獨專して女子を內房に閉ぢ籠め、女子は外出を禁じられて飽く迄も家庭に於ける下婢及び子供製造器として取扱はれ、牛馬の資格を以て飼養され一個の動物に化することになる。第四には易の倫理觀は家族制度の社會を背景とするが爲めに、女子に於ける結婚の目的は、他人の家へ嫁して舅姑に仕へ、夫を所天に奉じて之れを仰望し、其の胤を宿して子を產み、其の家の相續人を立てゝ先祖の祭を爲すことを本願とするやうになる。從つて七去の道德を副產して、蓄妾の制度を開き、妻妾群居の禽獸的行爲に陷らねばならぬ。第五には易の倫理觀は斯樣にして男尊女卑、男女不平等、男子本位、家族制度によつて規定された爲めに、固より男女の自由交際と云ふものは禁ぜられ、其の間に理解と云ふものも無く、戀愛と云ふものも必要を認められず、單に媒酌者と父母の命令とに由つて結合するのであるから、自ら夫婦の間に愛情の缺乏を生ず、虛僞の夫婦を濫造し、死灰枯木の如き家庭を生じ、最も不幸なる性的生涯を招くの結果となるのである。第六には女子は陰性であるによつて、理性に暗く、無智の者であると規定され、高等教育の必要なしと認められ、女子が高等教育を受ければ却つて其の天成を害すと考へられ、女子は單に育兒、裁縫、料理、洗濯の法を學び、傍ら人に和ぎ隨ふこと、怒恨まざること、人を謗らざること、ものを妬まざること、夫に智惠を借りること等を心得て居れば其れで充分であると云ふのである。從つて女子は社會的に一同の無智無能となり、男子の知識を金科玉條と解して之れに盲從し、男子の奸智によつて人權を蹂躪され、貞操を飜弄され、生命財產の一切までも奪はれて淪落の淵に墜るのである。

斯樣にして易の男女道德觀は最も不健全なるものに化し、有害極まる思想となり、數千年の間を通じて東洋の諸國民を支配し、人を欺き世を迷はし、拂拭すべからざる劣惡な男女社會を現出し、野蠻極まる男女道德を私製し、東洋の文明をして玉に疵を與へ、西洋の文明に對して慚愧に堪えぬものに成したのである。而かも歷代の東洋倫理學者は孰れも此の易の傳統的學說を盲信して、怪む者なく、男尊女卑の道德を奉じて人道と解し、男天女地の敎を拜して聖人の法として實踐に汲々たる有樣であつた。此の思想は夙に漢學の傳來と共に我が邦の社會に輸入

され、先づ奈良朝平安朝の貴族社會を侵し、降つて鎌倉時代の無學文盲な武士共を征服し、江戸時代に至つて最も平民的に士農工商の全般に普及されたのてある。恰も此の時に當つて女大學は時勢の要求に應じて更に宋明の新しい儒學に立脚して、易の男女道德觀を和文に意譯して婦道を定め、其の結論に於て女子の無智を大に責め、不和、不順、憤怒、怨恨、誹謗、嫉妬等あらゆる敗德を列擧して、之れを女子の通有性と爲し、男子を聖人君子に仰ぎ尊び、獨り女子を卑しみ盡して罵詈讒謗の毒筆を加へたのてある。其の不見識にして立論の根抵を過り、共に道義を談ずるの力なく、女子の敎育を云爲するの資格なきことは、こゝに至つて極まれりと云ふべきてある。

第十二章　批判

右の條々稚き時能く訓べし。又書付て折々讀しめ忘ることなからしめよ。今の代の人、女子に衣服道具抔多く與へて婚姻せしむるよりも、此條々を能く敎ふること一生身を保つ寳なるべし。古語に人能く百萬錢を出して女子を嫁せしむることを知て、十萬錢を出して子を敎ふることを知らずといへり。誠なる哉、女子の親たる人、此理を知ずんば有べからず。

此の文は女大學の末章てあるが、是れは親に對しての敎訓になつて居る。娘を持つた親に對して女子敎育上の心得を論結したものである。其の精神によれば、娘を持つて居る親は先づ右の條々を稚き時から能く訓へ、又は之を書き取つて讀ませて忘ること無からしめよと云ふのてある。女子に衣服道具などを多く與へて婚姻させるよりも、此の女大學の敎を授けて遣つた方が一生の寳になると云ふのてある。十萬錢を出して子を敎ふることを知らずに、百萬錢を出して嫁がすに汲々だる世の風潮は實に淺間しいと云ふのてある。是れは實に警世の至言てあり、道理至極の事であれば、吾々も雙手を擧げて贊成する所以ある。女子の結婚を衣服道具の調度に解釋して、百萬錢を投じて御祭騷ぎをするよりも、十萬錢を出して之れを敎育し、其の智德を啓き人格を養成して、賢婦人を仕立てることが聰明なる親の慈愛心て無ければならない。此の意味に於て女大學が處女の敎訓を規定して世の親達に女子敎育の方針を示し、子に迷ふ親心を善導して世敎に裨補せんと努めた誠意に至つては、實に感心の至りてあつて、感謝の詞も無い次第てある。けれども道德は法律と同じく、時の變遷に從ひ世の思潮に因つて形式を異にするのてあるから、江戸時代の社會に適合した道德を大正の今日に於て之れを無批判的に適用することは出來ないのてある。殊に江戸時代に於ける封建の社會を背景とした家族制度、姑嫁同居、男尊女卑、男女不同權、男子本位、媒介結婚、人格的戀愛の無い性交などを根本的敎材として婦女訓を規定した女大學の道德觀なるものは、既に今日の世に於ては死して價値なきものてあり、單に歷史上に於ける舊道德たるに止まり、一個の骨董品たるに過ぎない資格になつた。

それで世の親又は女子敎育家の諸先生が大正の今日に於て、而も東西文明の融合せる現代に於て、古代支那哲學の易に濫觴した男女道德を飜譯した和文の女大學を女子敎育の庭訓として奉ずるなどは、全く時代錯誤てあつて啻に尙古者流たるに止まらず、大に世の文敎を害し人心を蠧毒する者てある。將た此の庭訓を無批判的に婦道と解して日夜これを勤むるに汲々たる女子や、又は知らず〳〵の間に此の庭訓の社會的習慣に捉れて無意識的な生活に埋もれて居る女子は、無自覺の甚だしい者て自ら己れの人格を破壞する者てある。だから思慮ある現代の女子は幾重にも此の邊の道理を究達して、我が國に於ける男女道德の變遷を觀じ、古い女大學の骸骨を脫ぎ棄てゝ、世界共通の倫理學より論定した男女新道德に據り、最新の婦道を學び、眞個の女性の貞德を着んことを懇望するのである（完）

奇怪なる遊廓の前借制度

救世軍大佐　山室軍平

新廳令後より昨年末迄に救世軍にて廢業させた女

大正五年五月八日警視廳の新廳令發布後娼妓の張店といふことは止み、私娼の取締は幾らか嚴重になつた。其の反對に公娼は寧ろ之を奬勵せらるゝ氣味となり貸座敷の數は以前よりずつと增したが、何しろ時勢後れの劣惡なる奴隷制度のことゝて幸ひ其の割合に娼妓になる者の數が增さないのは未だしもの事と言はねばならぬ。

其の以來昨年末迄に救世軍に賴つて來て自由廢業の助力を求めた娼妓の數は百五十八人ある中に、貸座敷營業者との間の貸借關係がどうなつて居るか知つて居る者は七十人丈けであつた。其の他は樓主が狡猾な爲又本人が愚鈍な爲どんな風に帳面を誤魔化されても知らないで醜業を續けさせられた類が多いのである。

そこで今右七十人の廢業娼妓に就て取調べたる所を左に揭げよう。

場所鄕里敎育年齡等に就て取調べたる處

彼等が娼妓をして居た場所は

吉原	三五	洲崎	二八	新宿	四
品川	二	板橋	一		

彼等の鄕里は

東京	一五	秋田	九	千葉	八
新潟	五	群馬	四	栃木	四
埼玉	四	山形	三	福島	三
茨城	二	神奈川	二	岐阜	二
長野	二				

青森、岩手、宮城、山梨、靜岡、京都大阪の各一人宛。彼等の出所が甚しく東北の各縣に偏つて居ることを注意せられよ。

彼等の敎育程度はどうであるか。

無敎育	二八	一年だけ在學	三
二年間在學	二	三年間在學	六
四年間在學	一七	五年間在學	二
六年間修學	八	其の以上修學	四

即ち七十人の內の三割强に當る二十八人は全くの無敎育にて。舊い義務敎育の尋常小學をさへ卒らぬ。三年間在學迄の者の合計は三十九人即ち總體の五割五分以上に當る。亦以て今時の遊廓なる者が如何に無敎育な物の分らぬ女を狩り立て來て、不法不道なる奴隷の務をさせて居るものかといふことが知られるではないか。

彼等が廢業したる當時の年齡は

二十才	六	廿一才	一二	廿二才	六
廿三才	一五	廿四才	一〇	廿五才	六
廿六才	四	廿七才	四	廿八才	五
廿九才	一	三十才	一		

奇怪なるはその前借金て二百年かゝらぬと拂へぬ

彼等の前借金に就て見るに、最高八百五十圓から最低百圓迄、種々相違して居るが。之を細かに硏究して、私共は今の

公娼制度の如何に理不盡にして非人道なものかといふことを、今更の樣に發見する。

七十人の前借金合計は金二萬三千六百四十二圓にて之を平均にすれば、一人の前借金三百三十七圓七十四錢宛に當る。彼等が娼妓稼業をした年月を合算すれば、延數にて計百八十六年十ヶ月となる之を更に七十人に平均すれば何れも二年八ヶ月宛娼妓をして居つたことになる。然らば彼等は其の平均二年八ヶ月の娼妓稼業により、一體幾らの前借金を拂ひ得たかといふに、七十人分合計金三百二十八圓五十五錢にて。之を一人前に平均すれば、僅に金四圓六十九錢三厘宛となる。卽ち七十人の娼妓は平均二年八ヶ月宛の稼ぎにより、金四圓六十九錢三厘宛しか借金を返して居ないのである。試みに之を一年に割當れば金一圓七十五錢九厘。一ヶ月に割當れば金十四錢六厘六毛、一日に割當れば實に四厘九毛弱といふ計算になる。

言ふ迄もなく此れは貸座敷營業者の狡猾手段にて、勝手な勘定を作りて無智の婦人を欺き、幾らでも借金を負はせて、健康の續く限り外に出られぬ樣に仕向けた詐欺の仕打に外ならない。今日勞銀の騰貴した時代に、若い婦人が妻たるの榮譽を失ひ、母たるの特權を奪はれ、あんなみじめな眞似をして、それで一日食ふた外に四厘九毛しか義務償却の出來ぬといふ如き無法極まる話が何處にあらうか。

七十人の娼妓が一日平均の義務償却金は唯四厘九毛といふことになつて居る其の四厘九毛で若し殘忍なる貸座敷營業者の言ふ通り、正直に彼等の前借平均三百三十七圓七十四錢を拂ふたとすれば、いつそれが全部支拂へるかといふと、實に百八十八年十ヶ月六日宛かゝるのである。

今の日本の遊廓制度なるものは前借金と號する身代金にて無智の若い娼妓を欺き陷れて、最も醜怪なる奴隷となし、證文の上には大概年期六ヶ年だなど好加減な事を書いて置いて、實は百八十八年十ヶ月六日も稼がねば、足が洗はれぬ樣な仕懸になつて居る。卽ち一度娼妓になつたが最後、健康が全く傷れて逐出さるゝ迄は、決して外に出られぬ仕向けになつて居る。

□民本主義國際聯盟論議の時□
□我に凶悪非人道の制度あり□

此れは最近東京に於ける七十人の娼妓に就て、取調べた事實の證明する所である此んな奴隷賣買の惡制度をなぜ日本の政府は公許して置くか、日本の志士仁人はなぜこんな凶惡非人道の行を見逃しにするか、今や世界各國共婦人の地位は大に高まり、政治上に迄全く男子と同權を認められ樣とする時代に。我が日本では幾萬の婦人が犬猫にも劣る玩弄物として、理不盡なる賣買をせられて居る。之をどうして默つて視て居ることが出來よう。私共は唯此意味から言ふても、どうしても公娼の廢止を見る迄、須臾も安んずることが出來ないのである。

□淺野吉十郎氏より（秋田）

其後委細横手町の澤田松太郎氏に交渉仕候處、其の回答により澤田氏の奮闘は小生驚歎仕候。その運動の熱誠にして徹底つくゞ運動中の樣子にして、愈去る三月七日澤田氏が通俗講演會を開催し、其形勢を見て一切返事を小生まて送附する事に致居候。今や小生に於ても其返事によつて直に大運動を起すべく、一切の計畫は既に成り、會員の募集も難事にあらさる狀況にして、願くは東北の天地に先驅して廓清運動を起し度くと存居候。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

花柳病撲滅運動の倫理的方面

廓清會理事　油谷治郎七

大尉レオナルド●ダーウインは有名なる進化論者チャールス●ダーウインの息男にして自然科學の大家であるのみならず、社會科學にも意を注ぐこと深く、千九百十一年このかた英國優生學會の會頭であり、英國に於て社會廓清の運動に多大の勢力を與へてゐる名士である、近著の米國社會衛生協會の機關雜誌(十月號)にレオナルド●ダヴーインの筆になれる「花柳病撲滅運動の倫理的方面」と題する名文を掲ぐ、興味をそゝることと少からず、今其大意を譯して同好の士に示す。(油谷)

□醫術的にして又倫理的問題

歴史の敎ゆるところに依れば、戰爭の後には概ね花柳病の發生を著しく增すやうである。此度の大戰も、此點に於て、先則に洩れぬであらうと思はるゝ、徵候は今に於て已に少くはない。此病勢を防がんがために、今幾多の感賞すべき事業は行はれてゐる。他日此時代の醫學史の書かれるときに、其豫防手段は全く妥當でなかつたと記されるならむと豫め速斷してはならぬやうに見ゆる。

千九百十六年に此問題に關する王立調査委員の報告の公にせられて以來、「花柳病撲滅を目的とする國民的評議員會」は實際其主張の宣傳に助力し、內務當局は熱心に醫療設備の奬勵に努力してゐた。されども是れ實に醫術的問題であると共に、亦倫理的のものである。一般公衆は此運動の進步を助け或は妨ぐるに最も有力なるものであるといふのは、乃ち此道德的方面に關するのである花柳病撲滅運動の倫理は、今や疑もなく最も深刻なる注意を要求してゐるのである。

□抵抗力の養成と誘惑の撲滅

花柳病の取扱に關聯する幾多の問題に關して著しく異れる意見はあるが、然し多くの點に於て、毫も眞面目な論爭をする必要はあるとも思はぬ。固より二三の結論は極て少數の人々によりて反對せられてゐるが、今之を評論するは時間の浪費に過ぎず、たゞ簡單に說述すれば足る。今や貞潔は卽ち是等の疾病から免かるゝを保證する唯一の正き策である のみならず、又實に唯一の確かなる策であることを、一切の公言に於て、否認するものあることなし、故に醫療を除いて、花柳病撲滅の最善にして最有效なる方法は、誘惑に抵抗するに足る人物の數を多くするか、若くは又公衆の遭遇する誘惑を少くして、大多數の人々をして純潔に其身を保たしむるか、何れかにありとは、殆んど一般に承認するところである。人

の品性は道德的教育を以て更に力強くせねばならぬ。不品行が生む病理的危害を蔽ふところの、危險なる無智の幕を濶かに開かねばならぬ。醉酒と花柳病とは屢手に手をとつて進み行くものであるから、禁酒は廣く行はれるやうにせねばならぬ。其身に適はしき反對引力と快適なる住居は頗る有益なる結果を示すであらふ。街路や公共の娛樂場に於ては秩序を保ち風儀を亂さぬやうにせねばならぬ、而して此點に關しては婦人警察官は非常に有效である。最後に私通の結果小兒を產める母たる人が、其小兒の父たる人より見捨てられたるときは、多くは娼婦の生活に沈落するものであるから、結婚を持續するに足り又滿足するに足る結合たらしむる凡ての事は奬勵するがよい。今や醫療的の方面を別として、最も滿足なる進步を圖るべきは卽ち是等の道筋である。

□醫學者の立場と道學者の立場

醫療と關聯する倫理問題を考察せんとするに當つて、吾等の會する主要の困難の一は、自らの觀察の機會が特別であり又有限であるより發せる偏頗心を除くことである。人は誰でも其接する病患を以て、更に會すること少き苦痛と比較して、之を過大視する傾向を有するものである。醫師は不品行より來れる他の苦痛に比較して、病患に基く苦痛を重く見過ぐることがある。之に反して道德學者の研究は、不純潔なる行爲は、假令健康を害せずとも、其家庭を壞亂し又其生活を破壞するに至らすものたることを解せしむ。彼は學んだ、放埒なる生活は疾病の如く傳染性を帶ぶるものであり、不品行に基ける苦痛は決して最初感染せる範圍のものに限られてゐるものでない、又是等を考ふれば疾病に基く身體的苦痛の如きは、比較的に意に介するに足らぬものであることを、均しく、正思を凝らさんか、道德學者も醫師も花柳病の取扱に及ぼすべき或る種の問題に關して、互に異れる倫理的判斷に到着するものである。兩者を妥協する第一歩に於て、吾等は非常に困難なる問題に面せることを認めねばならぬ、其見るところ極て相隔つてゐる、恐くは正しく考ふるものは論爭を止めぬであらふ。

□花柳病と刑罰

花柳病の慘毒が、初犯者のみならず、其無邪氣なる妻子の身にも及ぶ戰慄すべきものたることは、未だ完く公衆一般に知られてゐない。今この肝要なる問題を詳述する暇なきことを惜む、且又其救療の性質を論ずる時間もない、唯其治療を受くること迅速なるべきは、醫學的見地から最も肝要とするのであることを記臆せよ。此事實を知つてから、各國多數の病院に於て、從來此種の患者を收容せざりしものが、最新の方法を適用する設備をなしてゐる。從來此種の患者が入院を許されなかつた理由は、病院維持費の多くの寄附者は花柳病を以て、罪惡に對する正しき刑罰と見たからで、而して多分醫師のうちにも此患者を診療する不快の義務より脫するを喜ぶものもあつた。

然れども今や刑罰の目的は復讐でなくて嚇沮にありとは一般に承認せられてゐる。巳に刑罰は出來るだけ犯罪を沮止し

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て正道に隨喜せしむるにありとせば、原則として正に三箇の條件を充たさねばならぬ。第一犯罪者の全部を攻撃せねばならぬ、第二凡て其犯罪に比例して苦痛を感ぜしめねばならぬ。第三無罪なるものは凡て其罰より免かれねばならぬ。さて花柳病は是等の條件のいづれをも含まざる也。不潔なる行爲者の多數は必ずしも此病の罰を蒙らず、犯罪者の或者は神罰の如き苦痛を感じ、或者は感染後少しの不便を覺えたるのみに止るものあり、而して全く無罪者も甚しき苦患を蒙り、往々不品行を犯せるものと同樣なる苦痛を感ぜざるを得ず。是等の病を點檢し來らば、かのセントポール教會の長老が、是等の病患は罪惡に對する刑罰として神の遣せるものなりと斷言せるは、科學の見地よりは誤謬であり、人道の見地よりは殘酷て且つ不正であり、宗教の見地よりは神を瀆すものにあらずや。

（譯者曰、ダルウィン氏は花柳病 患者 の診療入院を許さずとの條件を以て病院に寄附する多數の篤志家の行爲に關し、又病院に此患者を收容するの可否について詳論してゐるが、倫敦の病院と日本の病院と其制を異にして我國情に於ては不必要なる論議に屬するが故に之を省く。次に氏は病毒の感染を防ぐため又は治療するために、最も迅速に診療するを要するがゆへに、病院の設備を要する所以を詳述し、更に進んで海陸軍兵士を始め青年には病毒豫防藥具（プロフィラクチック、パッケット）を不斷に携帶せしむるの可否について述べ、多少惡影響あるも社會衛生の見地より、寧ろ其の携帶に贊する旨を說きたるのち、今日英國に於て論題となれる他の題目について論を進む）

□傳染病取締と花柳病

花柳病に罹れるものを强制的に届出でしむべしとの議は屢々論題に上るが、然し是は倫理問題を含めるものと覺えず。其傳播を防ぐ方法を講ぜんがため病 患 の傳染性なるものは、法律上 届出 をせねばならぬことゝなつてゐる。然も花柳病の場合は、此問題を深く研究せる多くの者は、當時さまでの有益なる效果を期しがたかるべしと考へられてゐる。卽ち反對論者に向て純然實際的見地から其說の誤りなることを論破せよ、彼等は直ちに甲を脫いで其主唱者の軍に降るであらふ。然る後に於て少からぬ人々は傳染病條例（コンタージアス●ディジーシエス●アクト）の復活を見るを喜ぶであらう考察するところによれば、是等の改革家は二種に類別するを得、卽ち一は此問題に要するだけの注意を拂つてゐない人々二は其論理的見解は何等の尊敬を拂ふ價のない人々である。此種の立法を再施するは、實際に於て此病に冒されることなく、軍務に從ふ人員數を減退せんために要するのである。然して其辯護者は、陸海軍醫務局の幹部の人々を含まず、此條例の通過の後一時は此病 患 者の數を減退せしめたが、其施行十七年の後に於ては、條例を初て施行せるときと殆んど同數にして、其後之を廢せる三十年に於て、百分七十五を減ぜるに氣付かざる也。是等の事實を觀來らば、健康上の見地より此種の立法を善法ど認むることを得ず。此條例が再び世に**施さるゝことなかるべし。**

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□公娼の醫學的倫理的誤謬

若し夫れ世界の他の部面を覗ば、娼婦を國家にて公認し取締るの論議は兎に角決定してゐる。佛國に英兵の出征するに當つて、吾等は親しく又此問題に接觸するやうになつた。娼婦を公認して取締るは、表面上健康と風儀と秩序に便益ありとの論據より來たものであるが、有名なるフレクスナー氏の歐洲娼婦論を注意して研究したるものは、其論據の果して眞實なりやを疑はねばならぬ、而して實際は或種の犯罪者階級を取扱ふに有效なるため警察官の珍重するところであると思はしむ。疾病に抗する安全策として、娼婦の檢黴は有效なるものでない、却つて安全に非行に耽ることを得との謬想を鼓吹して害を爲すものである。娼婦の公認取締によりて花柳病の發生を忽ちに減退せしめたことは、甚だ疑はしいが、爲し能ふと假定するも、娼婦の公認を非難する倫理的論難は打ち破ることを得ないであらふ。第一に娼婦を登錄し檢査し監督するを以て任務とするものは、同時に此社會的害惡を最少限度に減ぜんとする滿腔の熱情を注ぐ心的態度を維持するを得べきものでない。是を以て公娼制度は花柳病撲滅の運動を援助するに最も有效なる地位にある當局官權の上に道義上好ましからぬ影響を及ぼすものである。事實上警官の腐敗の暴露せらるゝこと一再のみではない。登錄娼婦の數は其傳染病條例の如き公娼制の施行後直ちに減ずるやうに見ゆるが遊娼は實際斯の制度の下に繁昌するものである。次に又娼婦の心的狀態は、女子の最も尊貴なりとする心情を販賣し絕へず取引するがために、全く屈曲し且つ頽廢してゐる。斯る倫落の婦人の百千と存在じて道德上及び肉體上の病毒を其遊を許す都市に傳播する。且つ又遊娼の公認せられゐるところには非公認の娼婦も亦普通に最も猖獗である。それ故に公娼制度は常に疾病の發生を減ぜずして寧ろ增すものである。倫理的見地より、娼家を國家が承認するを非とする理由は、明々白々にして又議論を要することなし。

●結婚媒介者取締規則

警視廳にては去る十三日結婚媒介業者に對する取締規則を發布し、三月十五日より施行す可き旨示達したるが、同則は紹介業者取締規則の項目中に追加さるゝ事となる可しと、其概要左の如し。

一、不動產三百圓以上を所有する者に非ざれば結婚媒介業を營むを得ず
二、結婚媒介業者は普通紹介業及其他の兼業をなすを得ず
三、許可を受けんとする出願者は營業方法の詳細を記入して屆出づ可き事
四、結婚媒介業者は依賴者が戶籍謄本を提示するに示されば絕對に紹介をなす可らず
五、民法の規定に基き男子は年齡三十歲未滿女子は同廿五歲未滿の者に對しては兩親の同意書を提示するに非ざれば紹介をなす可らず
六、結婚戶籍謄本同意書等は滿三ケ年間保有す可く三ケ年保有後は所轄警察署の同意を以て之を破棄する事を得
七、看板の揭示を許さず
八、營業上に關し詐欺的の言行ある可らず之に違反する時は直に營業許可を取消す可し
九、依賴者の秘密を漏泄す可らず
十、從業者は必ず所轄署の認可を受く可し

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ミリタリズムの覆沒と我國の方針

聯合軍慰問團長　日疋信亮

一、力卽正義の信條

人は誰でも、已が國家を愛しないものはない。國家の危急存亡に際しては、已が生命をも献げることを辭せぬのが、人の情である。然し國家を思ふ極、他國の利害榮辱をも、世界人類の得失休戚をも顧みず、唯已が國家にさへ都合よければ可いとなれば、世に戰亂の起る禍根が益々蔓延する。人と人と相屠り、血を以て血を洗ふことが、人類生活に必然已むべからざることとであるとせば、これも詮方ないが、苟も愛と平和との生活が、人生にとりて幸福であつて、混亂爭鬪が人生にとりて悲慘なる出來事であるとするならば、已が國家のために他國を侵掠するやうな行動をば、斷然排斥せねばならぬ。刑の目的は刑なきに歸し、干戈は戰爭を止め平和を持ち來らす爲めにのみ用ゐられて、初めて意義あることは、今更言ふまでもない。

さるに獨逸は他國を侵掠し、獨り世界に覇たらんとする目的を以て戰爭を始めた。獨逸民族は、他の民族を滅ぼして世界を征服する使命あるものと誇大妄想的に自信した。平和、人道、自由、博愛、これらを亡國の福音と罵り、而して「力」卽「正義」の福音を唱道した。上は大學の教授より、下は小學の生徒まで、斯の如き惡魔の信條を、天來の使命と妄信するに至つた。かうした獨逸民族が、よく其目的を達して、世界の覇主となつたならば、世界人類の如何になるであらう。或る民族は間もなく廢滅に歸し、或る他の民族は、獨逸帝國の治下に憐むべき奴隷生活を送るに至つたであらう。

二、列國の協同關係

獨逸の如き國家の、世界の一角に起つたことは、今の世界人類が、いかなる程度まで正義と人道と平和とを愛する精神あるかを驗めされる試金石を提供されたものと、或意味に於ていふことができる。而して休戰間際まで、多分獨逸が勝利を占めるといふやうな考は、つまり正義と人道と平和とを好む心薄く、獨逸の如き軍國主義、專制主義、に共鳴を感ずる處より、いつしか誤られたる一の大なる謬想だといはねばならぬ。この點に於ては、我國の識者間にも猛然反省して、悔改ねばならぬ人が或は尠くあるまいかと思はる。よく人は曰ふ、西洋は西洋である、日本は日本であると。これも一應は然りである。然しさういふ考へ方は、極端になれば昔日

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の鎖國主義になる。今の世界に於て、他の國に關係なしに、自分の國だけて立ちゆく國が何處にあらう。若しありとせば、そは世界に存在を認められぬ野蠻未開の國である。故に日本も世界の列國と協同聯立の關係を以て進まねだならぬ。將來の世界は、廣く人類のためには、時として自國の利害とを顧みぬだけの人道、博愛の精神を有する國民のみ榮ゆる新時代を持ち來らしつゝある。

三、社會大改革の烽火

わが日本も今に於て斷乎として兩の道の孰れかを選び採らねばならぬ。專制主義か自由主義か、軍國主義か平和主義か、階級主義か平等主義か、更に具體的にいへば獨逸主義か英米主義か卽ち是れてある。これは大戰の熄む時までは、わが國民にとつて、實に孰れとも解決し兼ねる難問題てあつたかも知れぬ。されど戰爭が終つてみれば、その黑白利弊、極めて明白て毫も疑ふ餘地がない。獨逸が久しい間採つて來た方針の根本的に誤つてゐたことは、他の國民よりも、寧ろ彼等獨逸國民自身が最も分明に知り得るやうになつた。近來獨逸に起りつゝある革命騷擾は、確に此邊の消息を物語るもので、何ういふところへ落ち着くか、今に於て豫め知り難いけれども、兎に角、從來の軍國主義、專制主義に向つて跡戻り爲ないことだけは疑あるまい。或は國家非常の厄運に際會したるところよりして、世界の產業經濟組織に、新時期を劃するほどの大改革の烽火が、彼等の間から揚るかも知れぬ。或は既に此事起れりと見る者もある。されば獨逸の軍國主義を滅したる者は、英米のデモクラシーてあるといへども、觀方によりて又獨逸自國に起つた反帝國主義てあるともいひ得る。

四、方針一變を要す

ミリタリズムは、ちよつと見たところ見榮えがある。いかにも堂々と仰がれる。然し何處か一角破れかゝると瓦落々々と崩壞する。デモクラチックな國は見ばえがない。組織秩序が嚴正てないやうに見える。されど耐久力があり、長持ちする。軍國主義は勝つ時は善いが、敗るゝ時はめちや〳〵になる。獨逸の目から觀て、佛國の如き一蹴りに馬蹄の塵として蹴破つて了ふ意氣込てあつたが、愈々かゝつてみると、非常に強い手答がある。獨逸が戰前より多くの探偵を放ち、興信所を利用し、凡ゆる方法を盡して戰鬪の準備をなし、その戰ぶりの殘忍暴惡なる、彼等の荒したる跡は、宛がら火事と洪水と一時に來つた如く、凡ゆる地上の物を根本から破壞し盡さねば止まず、毒瓦斯を用ゐるは、勿論、其用ゐたる長距離砲は、富士山より高き所を通過して、巴里を襲ひ、又捕虜に對して、肺結核をさへ傳染して返へしたといふ。これぐらゐ猛惡辛辣なる戰鬪方法を用ゐながら、最後に失敗を招く外なきを以てみれば、軍國主義の賴むに足らざるは、明白てある

英米の如き、平時には陸軍の準備なくして、一朝必要に際すれば、彼等自身も思ひ寄らぬほどの大なる兵力を短日月の間に造ることのできた實例は、軍國主義の權威を更に根柢から覆へしたものてある。我國の識者逹も大に此に見る所あつて、內治外交凡て一變する覺悟がなければならぬ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

虚偽の生活

三輪田女學校長
廓清會評議員　三輪田元道

■人間たるの自覺は＝眞實なる生活に■

私は、自惚て云ふのではないが、人生の意義より考へて云ふと、世の中て人間と云ふけれども、又動物の支配を受けて居るものもある、人間も動物と同視されるやうになれば、困つたものであらう。吾々人間は動物てはない、人間として尊といものである、尊とい人間であると自覺しなければならぬ。然らば何が故に、吾々の生尊といものであるかと云へば、活は眞面目である、正直であるからで、神と云ふもの世の中にあると云ふ事の信念があつたり、又各個人が自覺と云ふものを有して居るからである。が然し、斯様に尊とい人間てはあるが、人に依つては自覺を滅却して憚らぬ者もあつて、言行の全然相反するのを見る事がある。是等は鳥獸にも劣る、皆、一様であるとは云はれぬが、學問や、敎育のある方でも虚偽の生活をするので私はそれを歎息して居る。

■虚偽の證書授與式＝師恩山より高しといふ■

吾々の生活と云ふものは詰り虚偽てなく、即ち眞實の生活に悟入せなければならぬ。然るに今日の世の中は、敎育のあるものでもさうてはなくして、堂々たる政黨政派が、國利民福を增進したいと云ふて、其の旗幟を宣明して居るにも拘らず。綱領とか、宣言と云ふものは立派だが、實行と云ふ段になると、全く駄目になつて了ふ。政治にも虚偽があり、政黨にも亦然りと云つたやうなものである。吾々は又學校敎育にも關係して居るが、生徒の卒業式て讀む「師の恩は山よりも高し」「父母の恩よりも優る」とか云ふて年々必ず聞かされる事になつてゐる様なものである、何時も卒業式には何處の學校で讀む祝辭も千遍一律て此文句がなくては卒業式にならないが足一度校門を出ると忽ち師の恩などは弊履の如く感ずるのである。山よりも高いなんといふのは即ち虚偽で心に感じてゐるのてはない。虚偽を以て世の中が蔽はれて居るやうてある、商賣も亦然りて、南洋へ本邦より輸出される鉛筆などは、中には鉛を入れて居ると澪して居る。日本商人の奸譎思ふべきて、斯様の有様てあるから虚偽の爲めに貿易も發達しない。

■虚偽の世と知りつゝ＝互に虚偽を云ふ■

日外ぞや婚禮に招待を受け、商店より鰹節を買つたが、箱のみ大きく中實は四五本てあつた。實に虚偽てある。菓子折にしても大きな箱に底を上げて一並びそーつと這入つてゐる。實に虚偽てある。又

不經濟である、それから女郎屋にしても法律上の言葉で云へば貸座敷である、座敷を貸す家であるが、坐敷を貸してくれと云つたつて貸して與れはせぬ。待合もさうである。婦人の貞操を賣買する所である。人を待合す停車場の待合とは丸で違ふ。私は嘗て子供に聞かれて當惑した事があつた、待合といふ問で私も虚僞と知りつゝ、友達が用があるとき一定の場所に落ち合つて待合はする處だと、斯う詐つた。今日の社會は實に虚僞の生活である。いやな嘘もつかねばならぬ樣に出來てゐるのである。

■婦人の輕侮は＝

＝公娼の存在から■

一體、何故公娼私娼の社會に存在するのであるかと云へば、卽ち斯樣に世の中が虚僞であるからで、公娼私娼は早く撲滅せしめなければならぬ。さうして婦人の貞操をして潔くならしめねばならぬ。公娼とか、私娼とかと云つて賣淫させ、又跋扈させて置くのは、一面より云へば社會の道德がまだ進歩しないのに歸するが一面から云へば婦人を一般に輕侮して居るからである。

日本には離婚と云ふものが澤山ある、或は公娼私娼も之れが一因となるであらうかと思はれる。男女の婚姻するには、出雲の神樣に誓ひをし神前に於て互に二世變らぬ變らじと誓約をする、さうして置き乍ら神樣を欺いて平氣で離婚をする。虚僞の生活は神樣迄僞るのである、今や英吉利、亞米利加では、婦人ですら選擧權を與へられて居るのに、我國では公々然と賣淫制度を布いて、婦人を奴隷とし、尊とき貞操を切賣せしめてゐる。世界の思潮より遲るゝも亦甚しいかなて、其責は家庭に於ける敎養にもあるが公娼制度の廢止に吾々は大に皷を鳴して道德上よりも婦人の問題として之れが廢止を希望して已まぬのである。

□遠慮過ぎる日本婦人□

共立女子職業學校副校長　鳩山春子

◇何事も 引込思案であるのは、從來男子が女子を壓迫し來つた結果でもあらうが、どうも日本の婦人は氣が小さ過ぎて何事をするにも遠慮勝で人の顔色のみ見て居る樣です、卽ち折角自分の愛する良人から買つて戴いたダイヤの指環でも身分不相應だからとて之を篏めずに大事にして保存して置いたり、又親友や親族の人から紀念物として貰つた着物等を矢張り人前をかれて手を通さないで居る等は誠に

◇愚の至 りて、私共は人の爲めに生きて居るのではありません自分のをを處理して行くのに誰に遠慮が入るものですか斯んな例は實に一例には過ぎませんが、大に改め度いと思ひます、次に私は之からの生活を是非共簡易にしたい、卽ち衣服でも食物でも住居でも何れにしても

◇簡單に することが急務です、私の着物を御覽下さい二枚重ねて着て居ますが寒中でも何れにも綿が一枚も入つては居りません、只極少し裾の方と袖口丈に綿を入れて置くのみです、斯うし作れば綿の費用も入らず縫ふのにも時間はとれず簡單です、又中に袷を着て居ても人に變な氣を起させる心配もありません、夫て若し寒いと思ふ場合には中の肌襦袢の方で調節して行きますから

◇非常に 手が省けます又食物等も急ぎの場合にはわざ〳〵作る必要がありませんからパンなり何なりで極簡單に濟します、只茲に注意しなくてはならないことは凡て自分の頭の働きです、例へば最近住宅には椽側の必要はないだらう等と云ふ說も聞きましたが是は餘りに極端な事で此の椽のあるために子供等が運動するのに何れ丈け都合がよいか知れませんから其れ迄論節する必要はないと思ひます要するに頭を能く使用することです

◇無駄な ことには一切使はず有益なことに働かせても少し積極的に修養の必要がある思ひます。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人參政權問題

左は山脇博士が去る十日の貴族院に於て選擧法案上程に際し質問演說中婦人の選擧權に論及して、之を高唱された筆記であつて恐らく我議會に於ける婦人參政權の最初の要求であらう、即ち錄して參考に供す。

法學博士　山脇玄

佛國の革命會議に於てミラボーが演說した中に國會は猶ほ地圖の如し、地圖に於て全國の地形が其儘縮寫される如くに國會に於ても尙ほ國民の總ての階級の勢力、利益が遺憾なく代表せられねばならぬと言ひましたのは、國會の性質を說明するものとして屢〻引用されるが、國會は實に斯の如きものであらねばなりませぬ、國會は國民の代表機關であるとは、何人も異口同音に唱ふる所であります、今や個人が其本性、本能を自由に發展して、社會國家に貢獻する機會に平等に、均霑し得ると云ふことは、世界の風潮でありまして、如何なる權力も之に逆行することは到底不可能であると謂はざるを得ませぬ、若し强て之に逆行せんとするものがあると致しますれば是れ時勢を解せざる頑冥不靈の人であつて、自ら好んで進歩でなく退歩せるものであると謂はなければなりませぬ、さうして女子の教育も維新以來大に其面目を改めて進歩發展しつゝあるのみならず、漸く社會の需要に應じて教育事業や、交通機關や、其他の職業と勞作とを通じて精神的に、將た又物質的に社會、國家に貢獻してゐるのであります、斯樣に立憲政治の本旨から云ひましても、世界の大勢から見ましても、尙ほ又國民たるべき義務履行の上から論じましても、今日選擧權擴張の場合に於きまして、愛國心と國民的義務履行とに於て平等である、女子がどうして國政に參與する上に於て、不平等なる待遇を受けねばならぬのでありませうか、私は甚だ了解に苦しむのであります。

婦人參政如何

文學博士　藤井健次郎

明治維新以後教育が普及されて男も女も智識と共に道德が發達向上した憲政は此處に三十年、議會始まつて以來二十九年回を重ねる事四十一、地方の自治政又日に面目を一新して國民は餘程政治的訓練を受けて來たこの訓練されて來た程度は普通選擧制度となして遺憾なき迄に進歩して來てゐると思ふ、私は勿論普通選擧大贊成で少しの異論も無い納税資格を標準として選擧權を附與する等とは全く理由の乏しい事である。

扨男の方は斯うして普通選擧と云ふ事にして一般教育ある者に對し選擧權が與へらるゝとしても女の方は如何か、矢張同樣に權利を要求するに違ひない、又當然さうあるべきであらう、即ち普通選擧問題に續いて來るべきは婦人參政權問題である、教育の程度は最高に於ては男子が優等の地位を占め婦人に比して男子の方が進歩はして居るけれど義務教育は男女同樣であり中等學校の數及び收容生徒數も男女略同樣であるから現在の男子の智識と婦人の智識とは先づ普通一般の者は同程度であると云へる。

同じく智識の發達して居る男女の道德も亦同じ程度に向上して居る、然らば國民として男子が選擧權を一般に附與されたいと要求するなら婦人も亦要求を叫ぶだらう、蓋し尤もな事で純理の上から云へば少しの異議も反對も無い、たゞ婦人に參政權を與へて果して完全に行使するや否やが問題である、從來の慣習上女子は外に出ない者、家庭の中にて働くべき者として定められ來たから教育の方針迄がさう云ふ樣になつて居る。

其處て婦人は新聞一つ讀むにしても一面二面の所謂硬派に屬すべき記事は讀むべきものがないと云ふ風に多數の婦人は社會種の三面記事ばかりしか眼を通さないと云ふ有樣で、政談演說でも婦人は傍聽を許されて居ないと云ふ現狀である、故に智識道德は男女同程度あつても政治的に果してどれだけ訓練されて居るだらうかと思はれる。現在の日本婦人に取つてはたゞ政治的訓練の程度男女同樣でないと思ふ點だけが婦人參政權問題に就いて考へさせられる點である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

素より女子參政權に付きまして人體の構造や、教育の程度や、古來の習慣や其の他種々の原因よりして反對論があるに相違ありませぬが、其の反對論たるや詮じ詰めれば、古來女子を男子と同等の人間扱にせなんだ結果を捉へて、直に之を論及するか或は又男子自己の便宜を主とする偏見に主因するに非ざれば、全く一片の杞憂に外ならぬのであります。早い話が社會、國家の進歩と云ひ、國力充實と云ふのも、詰まる所は國民全體の勤勞の結晶であります。上は知識階級、精神的の人より下は勞働階級の庶民的階級に至るまで勞働より成るのであります。それであればこそ我國に於きましても、古來男女相俟つて協力して現代の程度まで漕ぎ付けたのでありませぬか。況や今日は女子が富國强兵の上に貢献して居りまする狀態は、殆ど男子と同等であると云つても過言でありませぬ。

然るに女子を參政權より除外することになれば、是ぞ即ち女子を非國民扱にし、女子に對する非常な侮辱であると云はねばなりませぬ、斯る非立憲的の法制は苟も文明國の仲間入をした我國にあるまじき事ではないでありませぬか、終りに臨みまして一言附加へて置きたいことは家庭に於ける母親の權威に付てゞあります。

申す迄もありませぬが古來英雄。偉人の背後には必ず賢明なる母親あるに鑑みましても、亦現代青年子女の教育程度の進歩に見ましても、男女性別に依つて社會上の地位、境遇に差等があるやうでありますと、家庭に於て青年子女を教養する上に甚だ不便を感ずることは、皆さんも吾々と共に日常實驗なされる所であらうと存じます。して見れば、此點よりしましても、此好機會を逸しませず、男女同等に參政權を要求せねばならぬ次第となるのであります。

右に對する床次内相の答辯は、物には順序がある、一國の政治はさう急激に變へる事はいけない。そこで今度の選擧權擴張も三圓の程度までにしたのであつて、普通選擧も早いし、婦人參政などはまだ〳〵と云ふ意味で、例によつて質問の要點に觸れず、大まかに物には順序があるからてゴマ化してゐた。歐米諸國に比して實に非常な懸隔であるが、我國も早く婦人自身が絕叫するやうにならねば駄目だ。

婦人問題としての住宅

成女高等女學校長　宮田　脩

日本婦人が一般甚だ虛弱であることは、今更ら云ふまでもないが、最近男子と女子の健康を比較した統計に依りますと、女子の健康は男子のそれより極めて劣り、從つて女子の死亡率も多いことが解ります。

かやうに婦人が虛弱であることは、家庭の問題であり、延いては國家の一大問題です。何故斯く婦人が弱くなつたかといふと、婦人は一般粗食であり、又少食といふことを一の禮儀のやうに考へて居る惡い因襲に捕はれてゐるからでせう。第二に婦人の經濟ですが、日本婦人は消費經濟の觀念が非常に乏しいことです。第三に修養ですが、婦人が立派に修養されなくては、妻としても夫の好伴侶となることは能きません。が現在の日本婦人は、家庭の事情から自由な知識の開拓が許されてゐません。だから根本から改善して婦人が自由に向上し得るだけの道を婦人につけてやらねばならぬと思ひます。先づ婦人を健全にする爲めには能きるだけ不便な衣服の改良をなされねばならないと想ひます。

併し根本的改善として最も緊要なのは住宅です、實際日本の住宅は不完全だと思ひます、例へば私達が旅館に泊つた時、戸障子が同じてある爲めに間違つて他人の室に入り込むやうな醜態を演ることが往々ありますて、それは部屋の設備が不完全な爲めからでせう。又外國などは一つ錠を下しさへすれば心配なく一家揃つて外出てきますが、それか日本の家になると、さうは簡單に行きませんので、從つて女子が留守するやうになつて、自然外出が出來ぬから身體が弱くなるといふことにもなるてせう。次に生活を改善する第一の方便として食物を料理する臺所の改良は最も緊要なことてせう。どうも日本の臺所は坐つたり、中腰にならなければ働けないが、自由に立つて働き得るやうなものにしたら婦人の健康に大に益する所が多からう。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

娼妓病院手記（一）

某驅黴院看護婦　田口和子

大正七年七月八日（月曜日）今日は四端町遊廓の檢査日であるけれども私の受持ちの新地遊廓は保健日なのでした。保健日といふのは娼妓を除くの外、遊客に接する藝妓や仲居などの健康狀態を診ることであつて、是れは毎月二回ぐらゐ遣らなければならないさうですが、都合に依ると一回に減らすこともあり、又は全く無いやうな事もあるのです。加之その診察の方法といふのが、上半身をホンの形式的に診るのであります。誰ても此の保健といふ事に就ては、頭からてんで馬鹿氣切つたものとして掛つてゐるのです。同業者からも口の惡い大將（大將といふのは藝娼妓や仲居並に妓夫等が樓主を呼ぶ時の尊稱であります）警察醫の未だ來ないのを幸ひ妙な面白い素振りをし乍ら、逃げ廻る妓共を捉へては胸や背に聽診器を着けたり、大きな掌を擴げては打診の眞似をしたりして、そして一角の醫師のやうな口調て『ヘン！これ位なら、乃公の方が何ぼか上手だよ。一體、こんな事やつたかて屁のかつぱにもなりへんが、な、、、トラホーム杯ても、正直に醫者へ行くのが十人に一人もあらうかのふ――お前たちアヘ、、、』と大きく打ち笑ふので、妓等は『そないな事ないふたらあきまへんがなア、、、』と、怖ろしいやうな、そして甘へるやうに寄り集つて、他愛もなく此の時ばかりは此の陰欝な病院からも、溫味の含まれた笑聲が洩れるのであるけれども、それがもの丶五分間も經つか經たない内に、其の浮々した輕く艷麗しい靜かな空氣も、物に怯えたやうに急に黑ずんで來て、次第〳〵に重鈍い雰圍氣に閉されて了ふのです。其の恐ろしい制靴はガチヤ〳〵といふ帶劍の音なんです。總て立會の巡査と、惠比須樣と諢名を戴いてゐる警察醫とが見え、先づお茶でも呑むでからといふので、暫時の間世間話などをし乍らガブ〳〵とお茶を呑み、惠比須先生の重い腰がヤチラ立ちますと、サア愈々初まると許りに大袈裟な態度で取り掛るのですが、此の保健の診斷は夫れは〳〵ホンの形式一偏であつて、三百名許りの人員を三時間足らずで濟まして了ふんです。廓淸會長の島田先生が保健は危險とやら仰言つたさうですけれども、全く其の通りなんですもの、毎度のこと丶は言へ何とも妙な暗い世界へ引摺り込まれるやうな氣持ちがしてならないんです。如何に學術智能に富むだ經驗のある專門家でも、彼の一局部疾患の花柳病の有無を上半身のみて、加もそれが碌に手も觸れずに鼻の先で『フムよし〳〵』と、次から次へ、丁度それは汚穢物を川へ投け棄てるやうに無造作な診斷では、眞實に遣らない方が餘程正直でもあり、又た經濟的ではなからうかといふ棄鉢な氣が起る位、それ程不眞面目極まる遣方なんですから驚く外はないのです。と謂へましたなら、それは餅屋〳〵て、それ相應な診方があつて、兎に角專門的に遣るんだから、他の門外漢の與り知る事ではないじやないかと仰言る方もありませうが、私達は一番よく此の事實問題を知つてゐるのですから、何と診察醫が理窟を捏上げたところて、それが適當の理由を述べることは、例へ附會ても出來やう答はないと信じられる證佐を持つてゐます。今日なども隨分太甚しいものが多いのであつたけれども、何故か其の多くの患者を見遁して了ひ、二百人の内から僅に二人だけ命令休業になつたらしいやうですが、斯樣に脊中や、頸筋や額などに黴毒性斑紋といふのが表面に現はれるまでには、吃度局部にも幾度か軟性下疳又は硬性下疳、黴毒、横痃など丶いふ數回の病毒を經て來てゐるといふ事實を篤と知つて居乍ら、一刻も早く休業さして夫れ相應な施療を遣らないのでせうか。其處には種々な魂膽があるんです。第一、命令休業といふ方は妓等が非常に憎れ且つ甚しい恥辱としてゐる上、樓主側ではテツキリ看護婦が告げたから、醫師の方でも止を得ず命令休業をさせたものと考へて、受持看護婦を憎むことが一通りてはないからてす。或時などは某樓の藝妓二三名が、何れも惡性の下疳のやうて却々癒らないから、何うも不思議て耐らないのて『まさかお客を取つてゐる樣な事はないんてせうね？』と聞くと、未だ此の社界に身を沈めた許りて詳しい事情を知らないらしい妓て『い丶え、何處の醫者へも治療には行つてはゐないんてすの。何分私の居る奧（樓主や其の家族を指す）が矢釜しいので、殆んど店を休むだ事はありません』と正直に白狀して了ふ。『夫れは不可ません。大切な自分の身體ぢやありませんか、成程奧の方の氣兼れもしなくてはならないてせうけれども、這麽酷い病氣を持つてゐるにも係はらず、それても氣兼れの方が大切だとすれば、夫れは大變な考へ違

へじやないでせうか。一刻も早く醫者の治療を受け、そして相應な養生をしないと、何時まで經つても癒るどころか、却つて漸次惡くなる許りだから、、、、、若し此の儘拋つて置くやうな事であつたら、必ず命令休業になるに違ひないんです』と云つて聞かしました。すると其の妓は樓に歸つて、樓主に是れ〳〵と受持看護婦が云つたと話したさうですから溜りません。『彼の看護婦は生若い癖に大人氣な事を拔かしやがる』と大變威丈高になつて、通行人を止めるやうな大聲で、散々私を毒付いたといふ事を後から聞いたんです。

　事務所の使ひ歩きなどをしてゐるおすみさんが、時折私を促へては『あなたねイ。餘り正直過ぎるから不可ないんですよ。此の間なども五六人の樓主が集つた時の話にも、散々それは酷い惡口を言つてゐましたッけ。だから此處は何事によらず、見て見ぬ振りをするのが何よりといふ譯さね――』と。數へるやうに諭すやうに姉樣振りを發揮なさるのも、此の中の空氣に集つて生活して行く、多くの人達の頭にはそれが當然であると信じてゐる其の內の一人であるならば、それは當然な考へだとは思ひますけれども、私の頭では這麼不條理な社會を洞察する能力のないためか、それとも私達の思想と餘りに隔たり過ぎてゐるためなのか、少しも判らないんです。如何に道德の低級な社會であつても、此の廓內以外の處では、眞實に不正直たれとは敎える樣な事はない筈です。それが此の社會では正直を喜ばぬので、何でも彼でも不正直でありさへすればそれで相手からも亦た此の社會からも共に喜ばれるといふ事は何ういふ譯なんでせう。私は何時も此の解釋に惱まされて居るんです。それ許りか『いゝ事よ、何ぼ擴つても此方が買ひに行くんじやあるまいし、いくらでも播ける丈は播いてやつた方が、餘程氣晴しになりますアれー、、、併し彼麼おそろしい毒のある事も知らないで、毎晩遊びに來る男があるとは全く世の中は廣いものさね。』と大言してゐるのです。慾のためか又は道德觀念の欠陷か孰れにしても這麼のが到る處に現存して居る以上は、私達の日頃考へてゐる美しい貴い國は築く事が出來ないと思ふと、何うして這麼ところを公認してゐる理由が更に判らないんです。それも切めて私達の好意が幾分なり屆くのでもあれば、私達は何を犧牲にしても奮勉する氣にもなりますが、好意を持つて盡さうとすればする程、却つてそれが惡意に依つて迎へられるのですから眞實口惜しくてならないのです。けれども此の考へは私一人ばかりではない筈ですけれど、此の社會に據つて生存して行く人達の中には、誰一人彼等多くの不道德な猫と同じやうな態度と思想とを持つてゐて、一言一句も眞實のことを言つてゐる者はないやうに見受けられるんです。專任醫のT樣と、そしてM樣の二人の話を聞くも『市內の一二流と稱されてゐる藝妓でさへ、一人として局部に疾患を持たぬ者はないといふ事を斷言し得る』と、仰言つたが、それでゐて百人の檢査から一二人の患者を出したのみでありとすれば、其處には何處かの?がある筈ではないでせうか。

○講和會議に婦人代表者

講和會議に於て又復有史以來の新事例現はれたり卽ち四十八名の婦人が英米佛伊白等七箇國の婦人を代表して目下將來の國際勞働に關する法規並に國際聯盟の下に於て遂行せんとする問題に關する計畫を起草中の勞働委員會に出頭して一の決議事項を開陳したり斯の如きは歷史上空前のことにして特に從前の講和會議の如き機會に於て婦人問題が一顧だも與へられざりし事實に對照して頗る興味あり勞働委員會の前に開陳したる決議事項左の如し

『吾人は十數億婦人の名に於て各國政府は各其國內に於て世界勞働組合各種婦人團體を代表する婦人の代表者を以て婦人勞働委員會を組織し婦人勞働者に影響を有する一切の立法事項は之を同委員會に諮詢せしむべき事を要求す』

(別報)英、米、佛、白、伊の各國を代表する四十名の婦人委員は萬國勞働委員會に列席し左の要求決議案を提出せり(十八日發、國際巴里電報)

『各國に其政府、勞働組合、婦人團、女醫等を代表するに充分なる資格を有する婦人を以て組織せる婦人勞働委員會を設立し、婦女勞働者に影響する特別法規に關する凡ての案は先づ諮問のためこの委員會に提出すべし』

七月九日(火曜日)　今日は豐前田町、竹崎町、今浦町三遊廓の檢査日でありました。强い炎り付くやうな日が窓硝子の下部の方から室內の床板に眞面に照付けて其の暑い事と云つたらないんです。正午、私の受持ちであつた洗滌を濟まして歸るが否や、たッたいま、入院した春妓さんが、それは恰度お客に甘つたれるやうな素振りて、私の頭に抱付き『上田さん、又た入院したはよ!。屹度あなたが招いたんでせう?』と、濃艷な聲で私を抱へた儘はなしさうもないので、私は態と抱かれた頭をもぎ取らうとせず『あなたはほんとうに繁く入院しますわねイ。』と云ふより他に言葉がなかつたんです。それて何處が惡くなつたのかと訊くと『矢張り同じなんてせう。先生あてえの何はよく知つてゐなはる癖に、又取りなはつたのよ。餘り齒痒くてなりへんから檢査臺の所で、先生あてえのは生れ付きたつせ』と云つたら怒つたの怒らないのつて『何を云ふか貴樣は誰の御蔭で鑑札が下りたと思ふ?。我輩が慈悲を含めて、始から惡いとは承知し乍ら傳染だと證明したからてはないか。生意氣な事を云ふと許さんぞ』と、それは眞實に恐しい顏をして叱つたんださうです。『それなら其の時斯う云つて遣れば良う厶ゐましたね。其麼に酷い事が初めから判つてゐるなれば、何故健康だなどゝ詐つて鑑札を下げさせだつて?』すると今まで甘つたれるやうな態度でゐた彼女は、急に凝乎なつて『あてえも然うは思ふたんよ。さうしたら這麼いやな寄生のやうな事をせずに濟むだのに……と精いつばい假鳴つて遣りたかつたのは山々だけど、それが一寸先と一分前とを考へて見ると、何うしても此の先このお醫者に惡く思はれては大變に損てすからマア〳〵と思ひ直したんですの。斯うやつて何時までも病院に置かれると借金は殖えるばかり、其の上永く居れば居る程身體がだん〳〵弱り切つて了つてはと思ふと、最う胸がいつぱいになつて仕方がないんです。』と、涙が兩眼に泌み出て、乾切つた床板の上にポツリと落ちるのでありました。私も急にどす黑いやうな空氣に犇々と迫られたやうに、思はず涙を流して其の儘二人は抱き合つて泣合つたんです。(つゞく)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

◇生存と土地　人は生れて出た以上は、生存に必用なものを要求せずに居られぬ。空氣、水、太陽の光と熱、これらは人の生存上、殊に必用なものである。若し人あつて空氣を獨占したり、水を獨占したり、太陽の光や熱を獨占するものあらば、吾等はこれを以て、吾等の生存を脅かすものとして、生命がけになつて爭はずには置かぬ。ところで此に土地といふものがある。これ亦人の生存に必用なること、氷や、空氣や太陽の光熱など　、幾んど異ならぬものであるまいか。この尊い土地を人々の力放題に獨占せしめることは何うだらう。これは大に考へねばならぬ問題である。新鮮な空氣を呼吸することが足りないで青い顔してゐる人々が多い。光線や温熱に觸れることの少いために、やはり青褪めてゐる人々多い。そして之が第一の原因は、尊い土地を已に必用だけ持たないて、他に餘計に占領されてゐることにある。

◇貧乏な我國　日本ぐらゐ貧乏な國はない。金の足りない貧乏でなくて、人の居ない貧乏である。人は繁殖する。されど此の中から偉いものが出ない。大いに偉くなくても、ちよつと偉いものさへ出ない。何んといふ貧乏な國だらう。アイヌ人を啓發するためにアイヌの字書を作つたりして、アイヌ人のために、一生涯を獻げるものはわが日本人でなくて外國人である。日本人の癩病患者のために、一身を獻げて惜まぬものは、日本人でなくて外國人である。朝鮮人を輕蔑して、これを虐待し、これを抑壓するものは、外國人でなくして、同國同胞の關係を有する日本人である。支那の興亡は、日本の興亡である。支那を拔きとつてみれば、日本の如きは廣い地上に有るか無いか分らぬぐらゐのものである。さるに支那を侮蔑して、日支の關係を破るものは外國人でなくして、日本人である。かういふ月本國民は、賢い國民か、愚な國民か分らぬ。賢愚は姑く置いて、地上に長く生存てきるか、何うか疑問てある。吾等は漫に國民の自信を損傷したくない。然し自信のない國民の滅ぶると同樣に、たあいもなく己惚れる國民も亡ぶる。貧乏な國である。金より人が無い。

◇朝鮮の二思潮　朝鮮には二つ大なる政治思潮が流れてゐる。その一は朝鮮に對して、壓制なる軍隊政治が除かれ、内地人同樣に自由が得られるならば、朝鮮人は今の併合狀態を打破して獨立することを敢て求めぬ、必らず内鮮の融和が充分に完成するに違ないといふ一の系統である。これを親日派ともいふ。他の一は之に反して、排日派ともいふべきものである。彼等にとりては善政を布くとか、自治を許すとか、壓制を止めるとかいふことは、根本的ならぬ技葉の問題である。よし如何に政治が改良され、如何に内地同樣に結構な取扱を受けても、それは幾んど問題にならぬとして、一も二もなく獨立を要求するのである、日本よりも古い四十年の歷史を反古として、二千萬の民族を長く亡國民として置くことは、何物を以てしても換へることはできぬといふのが、謂ゆる排日派の思潮である。内地人の目から見れば、朝鮮は近來著しく發達した、併合前の朝鮮と、併合後今日の朝鮮とは、全く比較のできぬぐらゐに狀態が變つてゐる。然し朝鮮人現今の氣風として、產業上の利益その他金錢上のことを餘り問題としない。苦痛はその他にある。海外移住を許されぬことの如き其一である。但しこの難關は大陸續きの支那を經て、密かに切拔けることができるが、新聞雜誌發行の權のないのは、更に大なる苦痛である。殊に京城神社として天照太神を祭らしめ、學校の敎科書を上下二段に分けて、一半を以て日本語を盛んに敎へ、又歷史の如きは、朝鮮國の史蹟を無視して、日本の事實のみを敎へ、朝鮮の事實は、日本に關係あることだけ附加へて記する如き、全く朝鮮民族存在の意義を喪失せしめるものであるといふ、これが彼等の最も忍ぶべからざる苦痛とする所である。

◇生活の二字　進步せる國にありては、凡ての問題は生活の二字に歸着する。生活の問題とならぬ國ありとせば、それは野蠻國だけである。生活問題を拔きにした政治論は、明治十七八年頃の自由民權家によりて、少からず唱道されて。然しそれは既に過去の問題である。明治二十年頃の自由貿易論者の間に多く呼號された。然しこれは今は既に過去の物語である。今日にありては學者の論や經濟論も、實際家の政治や經濟の論も、その發足點が皆日々の實生活から出てそして又日々の實生活に歸着する。如何にしても斯くあられはならぬ世界になつたのである。故に今日にありて政治の善惡得失を批判する標準も、亦この見地に立つてみればならぬことになつた。善い政治とは、何にも高尚な理窟に合つた政治といふことでない、歷史や傳統に適した政治でもない。善い政治とは、國民全體の生活をして安全ならしめる政治てある。少くともそれが第一基礎要件てある。衣食住の三つの中て、生活最も必要なるものは食てある。されば食の足る政治は、大體に於て善政てある。ところで日本の政治は此の意味に於て何うてある。日本ほど食物の高い國は世界に無いといふことは事實てあらうか。佛國ては一食のパン代が一錢て、一日に三錢あれば、餓死せぬといふ、一日働けば一ヶ月分の食料代に相當する賃銀が得られるさうだ、他の英米に於ても大差ないといふ。隨て日本程惡い政治の國はない。(宮)

大正八年三月三十日印刷　（毎月一回十日發行）
大正八年四月一日發行　一部定價金十五錢

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　本鄕區眞砂町三十六番地　三光堂
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓淸會發行所
電話本局四〇三五番
振替東京二七〇七二番

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌『廓淸』によるよ旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami, (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附內）

電話番町六二番　東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

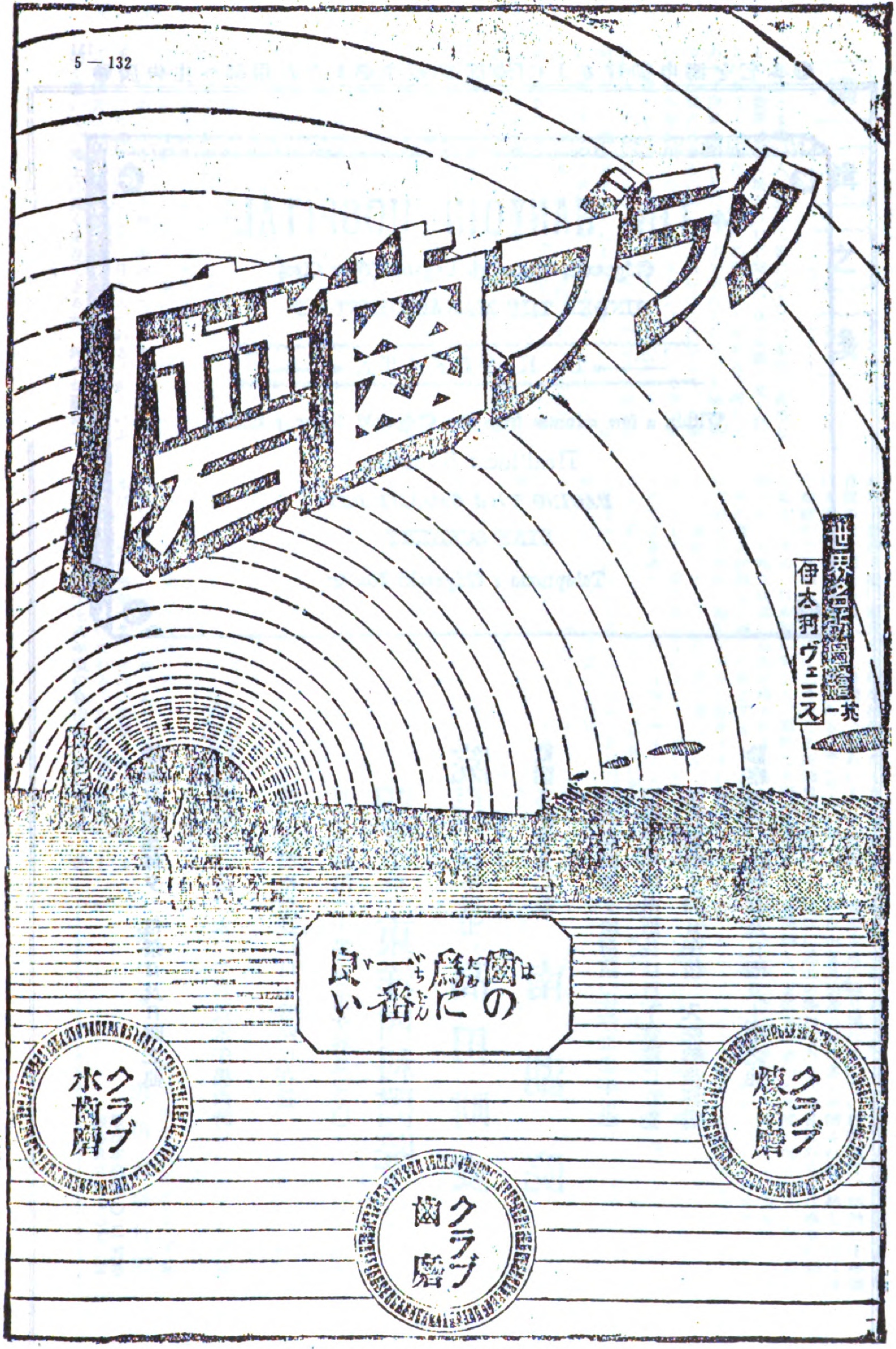
電話ちがさき二番　南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他



定價壹部金拾五錢